

盛岡市遺跡の学び館 平成19年度 館報



「みっけクラブ」修了式にて

盛岡市遺跡の学び館

はじめに

当館は盛岡市内の南西部にある緑豊かな市中央公園の一角に位置しております。広大な公園の中には、当館のほかに岩手県立美術館、盛岡市先人記念館、盛岡市子ども科学館の博物館施設が建ち、公園の近隣にある原敬記念館を加え、付近は美術・人物・科学・歴史とジャンルの異なる5施設が集中する全国的にも注目されるミュージアムゾーンが形成されております。19年度には、これらの博物館施設に古代の官衙遺跡を復元整備した志波城古代公園を含めた6施設が連携して組織した「盛岡ゆいとぴあミュージアムネットワーク(略称 もりとぴあねっと)」が立ち上がりました。これらの博物館施設が位置する盛南地区は、盛岡南新都市開発整備事業(盛南開発)が進行中の地域で、日々街の様子が変わっています。こうした状況を踏まえて「もりとぴあねっと」では『まち～まちをつくる・まちができる』をテーマに共同企画を開催し、各館ではそれぞれの施設の持ち味を生かした企画が展開されました。当館においては盛南開発事業におけるこれまでの発掘調査を振り返りながら、第6回企画展「まちづくりと考古学～盛南開発と遺跡発掘調査～」を開催いたしました。またこの企画展に関連して開催したフォーラムでは史跡等の保存と活用、そしてまちづくりへの活かし方などについての講演や今後の遺跡の活用のあり方について、多くの市民の皆様方と一緒に考えていくディスカッションの場を設けました。当館の重要な柱であります発掘調査を、まちづくりの観点から考えていくうえで貴重な示唆をいただき、大変意義深いものでありました。

さて、19年度も盛南開発事業以外にも、さまざまな要因による発掘調査(本調査)をあわせて24件実施しております。本書に掲載しております調査の詳細については、大半がそれぞれの本報告書において紹介しておりますので、ご参照いただければ幸いです。また、公開・活用を担っております学芸事業におきましても、先に紹介いたしました企画展のほかに、多様な事業を展開いたしました。おかげさまで、19年度の総利用者総数は、16年の開館年の利用者数を初めて超えており、さらに20年度は年度ごとの入りとしては、過去最高を記録しております。これからも多くの皆様方をお迎えできるよう内容の充実を目指して職員一同励んでいきたいと存じます。今後とも関係各位のご理解とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年3月

盛岡市遺跡の学び館

館長 武藤英富

例 言

- 1 本書は、盛岡市遺跡の学び館の平成19年度館報である。
- 2 本書の編集執筆は、佐藤和男が中心となり、当館職員と協議して行った。各調査ごとの執筆者は、その文末に示した。
- 3 IV章3埋蔵文化財発掘調査に記載の内容は、平成19年度に当館が行った発掘調査事業の成果の概要をまとめたものである。成果の速報的な略報であり、発掘調査報告書は一部発刊済み、あるいは別に発刊する予定である。
- 4 IV章3の埋蔵文化財発掘調査の記載についての例言は以下のとおりである。
 - (1) 遺構の平面位置は平面直角座標X系を座標変換した調査座標で表示した。なお、座標は日本測地系を使用している。調査座標軸は第X系に準じる。座標原点は以下のとおりである。

・飯岡才川	X=-36,000.000	Y=+26,000.000	・台太郎	X=-35,500.000	Y=+26,500.000
・大宮北	X=-35,000.000	Y=+25,000.000	・一本松	X=-39,000.000	Y=+25,000.000
・繫V	X=-32,200.000	Y=+24,000.000	・黒石野平	X=-29,000.000	Y=+27,000.000
・宿田南	X=-32,000.000	Y=+25,000.000	・西鹿渡	X=-37,400.000	Y=+28,600.000
・宿田	X=-32,000.000	Y=+25,300.000	・館	X=-34,000.000	Y=+22,000.000
・町田	X=-43,500.000	Y=+31,500.000	・乙部方八丁	X=-43,500.000	Y=+31,500.000
・薬師社脇	X=-32,000.000	Y=+30,000.000	・百目木	X=-38,000.000	Y=+27,500.000
・大館町	X=-32,000.000	Y=+24,500.000			
 - (2) 高さは標高値をそのまま使用している。
 - (3) 土層図は堆積の仕方を重視し、線の太さを使い分けた。土層注記などは本文でふれる以外は割愛した。層相の観察にあたっては、『新版標準土色帖』(1994 小山正忠・竹原秀雄)を参考にした。
 - (4) 遺構記号は以下のとおりとした。
 竪穴住居跡：R A、建物跡：R B、柱列跡：R C、土坑：R D、竪穴：R E、焼土遺構：R F
 溝跡：R G、配石・集石遺構：R H、古墳など：R X
 - (5) 本書に使用した地図は、国土交通省国土地理院発行の5万分の1「盛岡」「矢幅」である。
 - (6) 発掘調査にともなう記録や出土遺物は、当館で保管している。
 - (7) 図の表現について
 - ・遺跡範囲については、過去の調査成果や遺跡の地形、遺物の散布状況をもとにした推定範囲である。
 - ・遺構の平面図で、複数の遺構を同一図面に表示する場合、説明する遺構は実線で表し、重複遺構は一点鎖線、掘り込み面に層位差のある重複遺構は二点鎖線で表した。
 - ・土器は、縄文土器・土師器・あかやき土器・須恵器に大別した。縮尺は図ごとに表記してある。

目 次

はじめに	
例言 目次	
I 沿革	1
II 施設概要	2
III 管理運営 条例・規則等 職員体制	4
IV 事業概要	
1 管理運営	5
・遺跡ネットワーク整備委員会 ・利用者数一覧	
2 学芸事業	7
・第6回企画展「まちづくりと考古学～盛南開発と遺跡発掘調査～」	
・第25回埋蔵文化財調査資料展「盛岡を発掘する」—平成19年度調査速報—	
・テーマ展「発掘された“いろ”」	
・その他 フォーラム セミナー 体験学習会 現地説明会 学芸関係刊行物 研修、実習受入 講師派遣（出前講座等） 研修派遣 蔵書 収蔵資料管理システム サポーターズクラブ みっけクラブ	
3 埋蔵文化財発掘調査	13
○学術調査	
(1) 大館町遺跡第78次調査	15
○公共事業関連	
(2) 盛南地区遺跡群（本宮熊堂B遺跡第32次調査 飯岡才川遺跡第14次調査 台太郎遺跡第59～61次調査 宮沢遺跡第13次調査 矢盛遺跡第15～17次調査）	16
(3) 公共工事関連（大宮北遺跡第13次調査 一本松遺跡第8次調査 黒石野平遺跡第9次調査 繫V遺跡第34次調査）	19
○個人住宅建築等	
(4) 大宮北遺跡第11次調査	20
(5) 宿田南遺跡第9次調査	20
(6) 西鹿渡遺跡第21次調査	20
(7) 宿田遺跡第11次調査	20
(8) 館遺跡第20次調査	20
(9) 町田遺跡第15次調査	21
(10) 乙部方八丁遺跡第11次調査	21
○民間開発関連	
(11) 黒石野平遺跡第8次調査	22
(12) 薬師社脇遺跡第6次調査	22
(13) 百目木遺跡第28次調査	23
写真図版	29
報告書抄録	33

I 沿 革

1 (仮称)盛岡市文化財センター建設事業

平成12年12月の文化財調査室の火災(16年度館報に詳細を記述)を受けて、平成13年5月より(仮称)文化財センター建設に係る庁内外との協議(企画調整課・財政課・管財課・契約検査課・公園緑地課・建築営繕課・地域整備公園)を開始し、総合計画との関連および予算措置について、建設用地について等の協議をおこなった。各関係機関との協議を経て、同年7月には文化庁から埋蔵文化財センター建設事業(国庫補助)について平成14年度の事業実施の方向性が打診された。建設用地は、市先人記念館・市子ども科学館・県立美術館の立地する盛岡市中央公園地内に決定し、諸機関との調整も整ったことから同年8月に事業開始となった。

平成13年度は、(仮称)盛岡市文化財センター建築基本設計及び展示構想策定業務委託、ボーリングによる地質調査、給排水設備工事を実施した。建築基本設計は指名競争入札により業者を決定したが、展示構想策定業務についてはプロポーザル(書類審査)方式をとり、受託者選定委員会を開催し業者を選定した。

平成14年度は、建築実施設計・展示施設計画

策定業務委託・建築工事・土木工事を実施、実施設計を受け9月26日から建築工事に着手、14年度では全体の47%が完成した。展示施設計画策定業務委託では展示構想に基づき、展示室内における展示手法・演出方法等について検討し、展示施設製作に向けての方向性を策定した。

平成15年度は建設事業の最終年度にあたり、建築工事・展示施設製作・簡易リフト設置工事・敷地植栽工事・備品購入を実施した。建築工事は11月28日に完了し、12月下旬には文化財室(旧中央卸売市場事務所棟)から文化財調査資料整理作業の機能を移転、当施設において整理作業を開始した。

展示施設製作は11月まで工場での模型や展示什器、各種演出に係る装置の製作を行い、11月の施設引渡しを受けて現地での製作に着手、各種グラフィックの製作を経て翌年の2月25日に業務を完了、各種備品購入や機器取り付けについても完了、施設名称を「盛岡市遺跡の学び館」と定め、平成16年6月1日に開館式典を挙行、同日開館した。

2 事業経過

平成13年度	「(仮称)盛岡市文化財センター建築基本設計」策定 展示構想策定業務 地質調査
平成14年度	建築実施設計 展示施設計画 建築工事・土木工事
平成15年度	建築工事・土木工事 展示施設製作業務委託 盛岡市遺跡の学び館設置条例制定
平成16年度	盛岡市遺跡の学び館管理運営規則制定
平成16年6月1日	盛岡市遺跡の学び館開館
平成20年3月末	開館以来利用者数 48,497人

3 事業費等

・建設事業費 677,123 千円（国庫補助 210,000 千円・県補助 105,000 千円）

総事業費	677,755 千円	建築設計	株式会社三衡設計舎
建築設計委託	24,985	展示施設構想策定・製作	株式会社丹青社
建築工事費	455,490	建築主体工事	株式会社阿部正工務店
土木工事費	43,543	敷地造成工事	有限会社東北農林建設
展示計画策定業務委託	8,820	電気設備工事	新興電機株式会社
展示施設製作業務委託	91,308	給排水設備工事	有限会社門坂工業
備品購入費	44,700	機械設備工事	中央水道土木株式会社
その他	6,909	地質調査業務委託	旭ポーリング株式会社
		敷地植栽工事	株式会社やまいわ
		簡易リフト設置工事	三機商事株式会社

II 施設概要

(1) 施設の名称と位置

名称 盛岡市遺跡の学び館
住所 岩手県盛岡市本宮字荒屋 13 番地 1

(2) 設置 平成16年3月31日

開館 平成16年6月1日

(3) 施設の概要

・構造 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造
平屋（一部重層）
・敷地面積 5,788.8 m²
・建築面積 2,639.9 m²
・延床面積 2,748.72 m²

(4) 室名と面積

展示部門 常設展示室(450.8 m²) 企画展示室(81.4 m²) 展示器材室
教育普及部門 研修室(117.0 m²) 図書資料室(47.7 m²) 図書室(66.3 m²)
体験学習室(70.9 m²) 研修機材室 学習器材室等
收藏部門 保管展示室(897.3 m²・1階 517.8 m²・2階 379.5 m²)
特別收藏室(46.5 m²) 写真收藏室(27.2 m²) 図面收藏室(27.2 m²)
調査整理部門 資料整理室(237.2 m²) 遺物洗浄室(37.1 m²) 写真撮影室(28.8 m²)
保存処理室(14.7 m²)
管理部門 会議室(30.8 m²) 事務室(157.7 m²) 荷解室(24.5 m²) 休憩室(12.7 m²)

(5) 收藏資料

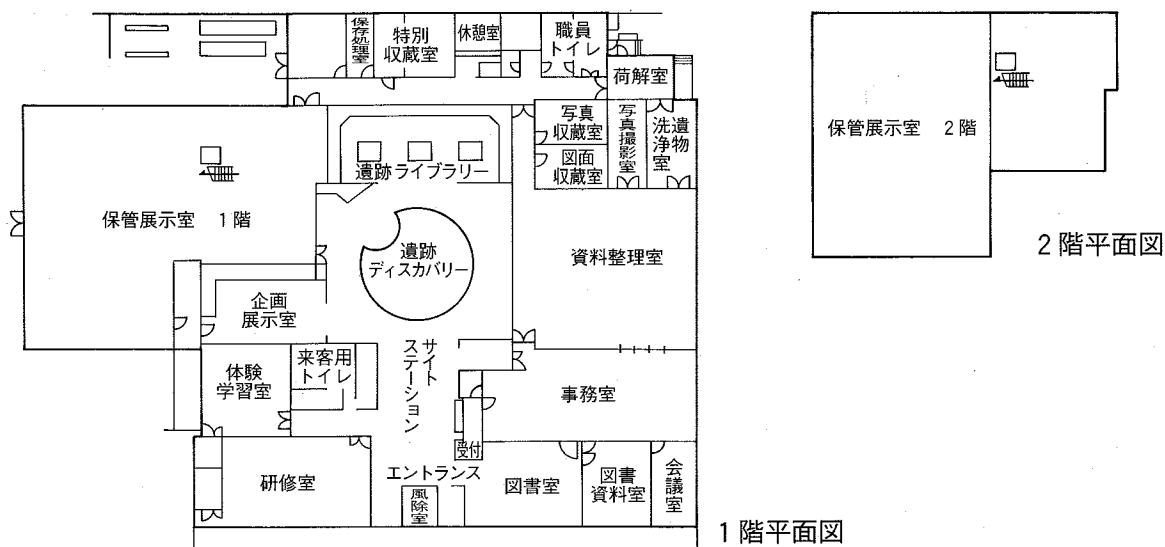
考古資料 実物（土器・土製品・石器・石製品・陶磁器・鏡・古銭・金属器・木製品・瓦・装身具・
小判・経石・サンプル） 約 5,200点
実物（コンテナ 骨角器、自然遺物含む） 大 284 箱 小 11,321箱
※コンテナ 大 503 × 700 × 397 mm 小 387 × 586 × 142 mm
模型 3点
図面（原図・第2原図・遺物実測図 等） 約 3,000 枚
写真 プリント（白黒・カラー） 130,379 枚、スライド 43,920 枚

(6) 業務の内容

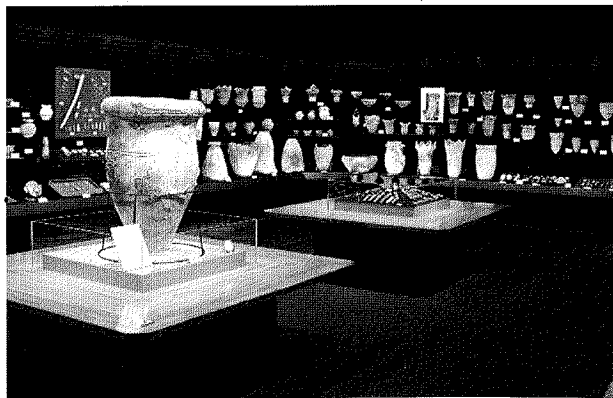
- ア 埋蔵文化財の発掘調査
- イ 発掘調査資料の整理
- ウ 出土品等調査資料の収蔵・展示及び活用
- エ 教育普及活動

(7) 事業費（平成 19 年度決算額）

- ア 管理運営事業費 15,848 千円
施設設備の維持管理、遺跡ネットワーク整備委員会の開催経費等
- イ 学芸事業費 5,150 千円（うち国補助 2,227 千円）
企画展、フォーラム、体験学習会、学び館セミナー、資料管理システム製作、等
- ウ 盛岡遺跡群発掘調査事業費 10,796 千円（うち国補助 5,100 千円 県補助 2,040 千円）
個人住宅建築に係る事前調査及び大館町遺跡の内容確認調査等
（発掘調査、資料整理及び発掘調査報告書の刊行）
- エ 埋蔵文化財調査事業費 4,366 千円
公共事業（市道建設、下水道工事等）にともなう発掘調査
- オ 盛南開発地区埋蔵文化財発掘調査活用事業 25,781 千円（うち国補助 5,300 千円）
盛南開発事業に係る発掘調査及び活用事業



外観



展示室（遺跡ライブラリー）

第 1 図 館内平面図・外観等写真

Ⅲ 管理運営

1 条例・規則等

盛岡市遺跡の学び館条例

(趣旨)

第1条 この条例は、遺跡の学び館の設置及び管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 市民の教育及び文化の向上に資するため、出土した埋蔵文化財を展示し、及び遺跡について体験的に学習する場を提供する施設として、遺跡の学び館を次表のとおり設置する。

名 称	位 置
盛岡市遺跡の学び館	盛岡市本宮字荒屋 13 番地 1

(使用の許可等)

第3条 遺跡の学び館を使用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

2 教育委員会は、遺跡の学び館の使用が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、前項の許可をしないものとする。

- (1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあるとき。
 - (2) 施設又は設備を汚損し、損傷し、又は亡失するおそれがあるとき。
 - (3) 前2号に掲げるもののほか、遺跡の学び館の管理上適当でないと認めるとき。
- 3 教育委員会は、遺跡の学び館の管理上必要があると認めるときは、第1項の許可に条件を付することができる。

第4条 埋蔵文化財に関する資料の撮影、複写等をしようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

2 前条第2項及び第3項の規定は、前項の許可について準用する。

(許可の取消し等)

第5条 教育委員会は、遺跡の学び館の管理上必要があると認めるとき又は第3条第1項の許可を受けた者(以下「使用者」という。)若しくは前条第1項の許可を受けた者(以下「特別利用者」という。)が次の各号のいずれかに該当するときは、第3条第1項若しくは前条第1項の許可を取り消し、第3条第3項(前条第2項において準用する場合を含む。以下同じ。)の条件を変更し、又は行為の中止若しくは遺跡の学び館からの退去を命ずることができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく処分に違反したとき。
- (2) 偽りその他の不正の手段により第3条第1項又は前条第1項の許可を受けたとき。
- (3) 第3条第1項又は前条第1項の許可を受けた後において第3条第2項各号(前条第2項において準用する場合を含む。)のいずれかに該当するに至ったとき。
- (4) 第3条第3項の条件に違反したとき。

(禁止行為)

第6条 使用者又は特別利用者は、遺跡の学び館において次に掲げる行為をしなければならない。

- (1) 許可を受けずに物品の販売その他の商行為をすること。
- (2) 許可を受けずに印刷物、ポスター等を掲示し、又は配布すること。

(使用料)

第7条 使用者から別表に定める使用料を徴収する。
2 前項に定めるもののほか、附属の設備を使用する者から規則で定める使用料を徴収する。

3 使用料は、第3条第1項の許可の際に徴収する。

(使用料の減免)

第8条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、使用料を減免することができる。

- (1) 障害者基本法(昭和45年法律第84号)第2条に規定する障害者(以下「障害者」という。)及び当該障害者の介護を行う者が遺跡の学び館の展示室を使用するとき、障害者が遺跡の学び館の研修室又は体験学習室を個人で使用するに並びに遺跡の学び館を障害者の福祉の増進に資するものと市長が認めたものに使用するとき(営利を目的とする場合を除く。)
- (2) 市の区域内に住所を有する65歳以上の者が遺跡の学び館の展示室を使用するとき。
- (3) 前2号に掲げる場合のほか、市長が公益上その他特別の理由があると認めたとき。

(使用料の不還付)

第9条 既納の使用料は、還付しない。ただし、使用者の責めに帰することができない理由により遺跡の学び館を使用できなかったときその他特別の理由があると市長が認めたときは、使用料の全部又は一部を還付することができる。

(損害賠償)

第10条 使用者又は特別利用者は、自己の責めに帰すべき理由により施設、設備又は展示物を汚損し、損傷し、又は亡失したときは、教育委員会の指示するところにより原状に回復し、又は損害を賠償しなければならない。

(職員)

第11条 遺跡の学び館に館長のほか必要な職員を置く。

(委任)

第12条 この条例に定めるもののほか、第7条から第9条までについて必要な事項は市長が、その他遺跡の学び館の管理について必要な事項は教育委員会が定める。

附 則

1 この条例は、教育委員会規則で定める日から施行する。
2 盛岡市都市公園条例(昭和52年条例第10号)の一部を次のように改正する。

第6条の2第6項中「盛岡市先人記念館」の次に、「盛岡市遺跡の学び館」を加える。

別表第1中「盛岡市先人記念館」を「盛岡市先人記念館 盛岡市遺跡の学び館」に改める。

別表(第7条関係)

(1) 展示室の使用料

区分	個人使用料 (1人1回につき)	団体使用料 (1人1回につき)
一般	200円	160円
中学校生徒及び小学校児童	100円	80円

備考

- 1 団体使用料は、20人以上の団体で責任者のあるものについて適用する。
- 2 規則で定める日に規則で定める中学校生徒及び小学校児童が5人以上で使用する場合におけるこの表の適用については、「100円」とあるのは「50円」と、「80円」とあるのは「40円」とする。

(2) 研修室及び体験学習室の使用料

区分	午前9時から 午前正午まで	午後1時から 午後5時まで	午前9時から 午後5時まで
	研修室	西側 1,000円	東側 2,000円
体験学習室	2,100円	2,800円	4,900円

盛岡市遺跡の学び館管理運営規則

(趣旨)

第1条 この規則は、遺跡の学び館の管理運営の基本的事項に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 遺跡の学び館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、教育長が特に必要があると認めるときは、これを変更することができる。

(休館日)

第3条 遺跡の学び館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育長が特に必要があると認めるときは、臨時に開館し、又はこれ以外の日に臨時に休館することができる。

- (1) 月曜日(その日(元日を除く。))が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日
- (2) 毎月の最終の火曜日(休日を除く。)
- (3) 12月29日から翌年の1月3日までの日

(許可の申請)

第4条 盛岡市遺跡の学び館条例(平成16年条例第29号。以下「条例」という。)第3条第1項の許可のうち、遺跡の学び館の展示室の使用の許可を受けようとする者は、口頭で許可を求めなければならない。ただし、団体で使用の許可を受けようとする者は、盛岡市遺跡の学び館展示室団体入場許可申請書を教育長に提出しなければならない。

2 条例第3条第1項の許可のうち、遺跡の学び館の研修室又は体験学習室(以下「研修室等」という。)の使用の許可を受けようとする者は、盛岡市遺跡の学び館研修室等使用許可申請書を教育長に提出しなければならない。

3 前項の申請は、研修室等を使用しようとする日の5日前までにしなければならない。ただし、教育長が遺跡の学び館の管理運営上支障がないと認めるときは、この限りでない。

(許可書等の交付)

第5条 教育長は、遺跡の学び館の展示室に係る条例第3条第1項の許可をしたときは、次の各号に掲げる使用の態様に応じ、当該各号に定める許可書又は入場券を交付するものとする。

- (1) 団体使用 盛岡市遺跡の学び館展示室団体入場許可書
 - (2) 個人使用 盛岡市遺跡の学び館展示室入場券
- 2 教育長は、研修室等に係る条例第3条第1項の許可をしたときは、盛岡市遺跡の学び館研修室等使用許可書を交付するものとする。

(許可証等の提示)

第6条 条例第3条第1項の許可を受けた者は、遺跡の学び館を使用しようとするときは、前条の規定により交付された許可書又は入場券を所定の場所で職員に提示しなければならない。

(資料の特別利用)

第7条 条例第4条第1項の許可を受けようとする者は、盛岡市遺跡の学び館資料特別利用許可申請書を教育長に提出しなければならない。

2 教育長は、条例第4条第1項の許可をしたときは、盛岡市遺跡の学び館資料特別利用許可書を交付するものとする。

(補則)

第8条 この規則に定めるもののほか、遺跡の学び館の管理について必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この規則は、条例の施行の日(平成16年6月1日)から施行する。

附 則(平成17年教委規則第4号)

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

盛岡市遺跡の学び館の使用料に関する規則

(趣旨)

第1条 この規則は、盛岡市遺跡の学び館条例(平成16年条例第29号。以下「条例」という。)の規定に基づき、遺跡の学び館の使用料に関し必要な事項を定めるものとする。

(附属の設備の使用料)

第2条 条例第7条第2項の規則で定める使用料は、別表のとおりとする。

(減免の申請)

第3条 条例第8条の規定による使用料の減免を受けようとする者は、盛岡市遺跡の学び館使用料減免申請書を市長に提出しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、条例第8条第1号に規定する障害者で次に掲げる手帳の交付を受けているもの(その者の保護者が交付を受けているときは、本人)又は同号に規定する障害者であることを証する書面を有するもの(以下「手帳被交付者等」という。)及び当該手帳被交付者等の介護を行う者が遺跡の学び館の展示室を個人で使用する場合並びに手帳被交付者等が遺跡の学び館の研修室又は体験学習室を個人で使用する場合は、当該手帳被交付者等の介護を行う者については当該介護を行う手帳被交付者等に係る当該手帳又は書面の提示をもってこれに代えることができる。

- (1) 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第1項の身体障害者手帳
 (2) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第1項の精神障害者保健福祉手帳
 (3) 戦傷病者特別援護法（昭和38年法律第168号）第4条第1項の戦傷病者手帳
 (4) 知的障害者療育手帳交付規則（昭和49年岩手県規則第57号）第2条の療育手帳
- 3 第1項の規定にかかわらず、条例第8条第2号に規定する者であることを証する書面を有する者が遺跡の学び館の展示室を個人で使用する場合は同項の申請書の提出については、当該書面の提示をもってこれに代えることができる。
 （使用料を減額する日）
 第4条 条例別表第1号の表の備考2の規則で定める日は、毎月の第2土曜日及び第4土曜日とする。
 （使用料を減額する児童）
 第5条 条例別表第1号の表の備考2の規則で定める中学校生徒及び小学校児童は、市の区域内に住所を有する中学校生徒及び小学校児童並びに市の区域外に住所を有する者で市の区域内にある中学校（北陵中学校を含む。）及び小学校（月が丘小学校を含む。）に就学しているものとする。
 附 則
 この規則は、条例の施行の日（平成16年6月1日）から施行する。

別表（第2条関係）

区分	使用料	
	単位	金額
舞台設備	演台（司会用）	1台 390円
	演台（講師用）	1台 520円
	ステージ	1台 130円
音響設備	音響装置	1式 1,500円
	スピーカー	1式 260円
	マイクロホン	1本 130円
映像設備	スライドプロジェクター（ケース付き）	1式 390円
	マルチプロジェクター	1式 1,300円
	ビデオ一体型DVDプレイヤー	1台 390円
	テレビ	1台 260円
実習用設備	電気陶芸窯	1基 2,600円
	電動ろくろ	1台 390円
	手回しろくろ	1台 130円
	グラインダー	1台 390円
	電動糸のご盤	1台 390円
	卓上ボール盤	1台 390円
その他の設備	簡易展示パネル	1式 390円
	移動用スクリーン	1台 130円
	レーザーポインター	1台 130円
	持込機器に係る電気使用	1初めまでごとに100円

備考 午前9時から午後5時まで使用する場合は使用料の額は、この表に掲げる額に2を乗じて得た額とする。

2 職員体制

館 長（兼） 武 石 幸 久

館長補佐（兼） 佐 藤 和 男

[管理・学芸班]			[調査班]		
(主査1 非常勤3 臨時1)			(主査2 主任1 主事2 非常勤2)		
主査(兼)	杉 浦 雄 治		文化財主査(兼)	室 野 秀 文	
学芸調査員(非常勤)	鷹 鷲 あゆみ		文化財主査(兼)	菊 地 幸 裕	
学芸調査員(非常勤)	相 馬 容 子		文化財主任(兼)	神 原 雄 一 郎	
文化財調査員(非常勤)	吉 田 里 和		文化財主事(兼)	今 野 公 顕	
臨時職員	吉 田 美 枝 子 (H19.4～)		文化財主事(兼)	佐 々 木 亮 二	
	武 蔵 真 由 美 (H19.7～)		文化財調査員(非常勤)	鈴 木 賢 治	
	吉 田 美 枝 子 (H19.10～)		文化財調査員(非常勤)	浅 沼 のぞみ (H19.5～)	

IV 事業概要

1 管理運営

・盛岡市遺跡ネットワーク整備委員会

盛岡市における中核史跡や重要遺跡の保存活用のため、遺跡整備の基本的方向を定めることを目的として平成12年に設置、遺跡の学び館の開館を機に、当館の運営に関することについても所掌することになった。

【期 日】 平成20年3月24日(月)15:00～16:30 【会 場】 当館 研修室

【出席者】 委員：委員長 嶋 千秋（（財）石川啄木記念館館長）

工藤雅樹（東北歴史博物館館長） 菅野文夫（岩手大学教育学部教授）

熊谷常正（盛岡大学文学部教授） 瀬川君雄（（株）東広社常務取締役）

齊藤直子（盛岡市立生田小学校長）

教育委員会 八巻恒雄教育長・武藤英富歴史文化課長補佐、歴史文化課職員及び当館職員

【議 事】 ・ 前回までの協議内容について ・ 遺跡ネットワーク関連整備について
 ・ 平成19年度遺跡の学び館業務について ・ 平成20年度遺跡の学び館事業計画案について

	一般										小学生					入場者総計	入場者総計	入場者総計	入場者総計	入場者総計	利用者総数	開館日数											
	有料入場者数					入館料免除					有料入場者数												入館料免除										
	個人	団体	2館券購入	4館券購入	小計	手帳	市内65歳以上	御招待	行政視察	教育課程	2館券使用	4館券使用	その他	小計	一般総計								通常日個人	通常日団体	小計	50円	40円	小計	手帳	御招待	教育課程	小計	小学生総計
H19 4月	総数	125	0	20	3	148	0	8	56	0	9	12	5	11	101	249	142	0	142	0	0	0	0	0	144	144	286	535	535	0	877	25	
	内、団体数(件数)	0	0	0	0	0	0	0	56	2	0	0	0	0	0	56	0	0	0	0	0	0	0	0	144	144	286	535	535	0	877	25	
5月	総数	183	0	36	8	227	5	35	60	0	5	24	11	24	164	391	372	113	485	0	0	0	0	65	5	70	555	946	1,481	0	1,414	26	
	内、団体数(件数)	0	0	0	0	0	0	0	60	0	0	0	0	0	60	391	372	113	485	0	0	0	0	65	5	70	555	946	1,481	0	1,414	26	
6月	総数	93	47	7	1	148	2	28	1	3	19	11	4	57	125	273	252	269	521	0	0	0	0	0	262	262	783	1,056	2,537	2	1,977	25	
	内、団体数(件数)	47	3	0	0	50	2	24	1	0	0	0	0	0	50	273	252	269	521	0	0	0	0	0	262	262	783	1,056	2,537	2	1,977	25	
7月	総数	141	195	3	1	340	1	12	53	0	9	11	10	7	103	443	146	92	238	0	44	4	3	27	101	131	413	856	3,393	7	1,482	25	
	内、団体数(件数)	195	6	0	0	201	1	12	53	0	9	11	10	7	103	443	146	92	238	0	44	4	3	27	101	131	413	856	3,393	7	1,482	25	
8月	総数	313	10	21	2	346	6	3	90	15	2	31	19	19	185	531	251	49	300	0	0	0	1	0	54	55	355	886	4,279	9	1,380	26	
	内、団体数(件数)	10	1	0	0	11	1	3	90	15	2	31	19	19	185	531	251	49	300	0	0	0	1	0	54	55	355	886	4,279	9	1,380	26	
9月	総数	149	93	36	2	280	3	56	48	2	13	14	9	50	195	475	141	112	253	0	0	0	0	9	255	264	517	992	5,271	6	1,683	26	
	内、団体数(件数)	93	3	0	0	96	3	56	48	2	13	14	9	50	195	475	141	112	253	0	0	0	0	9	255	264	517	992	5,271	6	1,683	26	
10月	総数	117	0	12	11	140	15	60	89	25	5	27	18	21	260	400	72	113	185	0	0	0	0	17	70	87	272	672	5,943	7	1,151	25	
	内、団体数(件数)	0	0	0	0	0	0	0	89	25	5	27	18	21	260	400	72	113	185	0	0	0	0	17	70	87	272	672	5,943	7	1,151	25	
11月	総数	100	0	18	4	122	9	60	61	0	4	10	10	9	163	285	44	0	44	0	0	0	0	26	27	53	97	382	6,325	9	623	25	
	内、団体数(件数)	0	0	0	0	0	0	0	61	0	4	10	10	9	163	285	44	0	44	0	0	0	0	26	27	53	97	382	6,325	9	623	25	
12月	総数	52	11	7	2	72	0	4	7	0	3	5	4	0	23	95	21	43	64	0	16	0	0	6	6	86	181	6,506	6	319	24		
	内、団体数(件数)	11	2	0	0	13	0	4	7	0	3	5	4	0	23	95	21	43	64	0	16	0	0	6	6	86	181	6,506	6	319	24		
H20 1月	総数	221	57	13	3	294	2	12	124	0	0	15	4	3	160	454	198	0	198	0	0	0	3	9	0	12	210	664	7,170	1	1,176	23	
	内、団体数(件数)	57	1	0	0	58	2	12	124	0	0	15	4	3	160	454	198	0	198	0	0	0	3	9	0	12	210	664	7,170	1	1,176	23	
2月	総数	85	0	12	3	100	1	11	19	0	3	3	9	1	47	147	19	0	19	0	0	1	11	6	18	37	184	7,354	7	392	23		
	内、団体数(件数)	0	0	0	0	0	0	0	19	0	3	3	9	1	47	147	19	0	19	0	0	1	11	6	18	37	184	7,354	7	392	23		
3月	総数	107	0	20	1	128	1	10	104	0	0	8	10	1	134	262	52	0	52	0	0	0	0	0	0	0	52	314	7,668	4	484	25	
	内、団体数(件数)	0	0	0	0	0	0	0	104	0	0	8	10	1	134	262	52	0	52	0	0	0	0	0	0	0	52	314	7,668	4	484	25	
計	総数	1,686	413	205	41	2,345	45	299	712	45	72	171	113	203	1,660	4,005	1,710	791	2,501	0	60	6	164	930	1,102	3,663	7,668	7,668	59,314	1575	514	12,956	298
	内、団体数(件数)	413	16	0	0	429	45	299	712	45	72	171	113	203	1,660	4,005	1,710	791	2,501	0	60	6	164	930	1,102	3,663	7,668	7,668	59,314	1575	514	12,956	298

(注1) 団体者数にコンベンション割を含みます。(注2) 館外行事とは主催行事のうち、出前講座や現地説明会、別会場を利用しての行事等を指します。
(注3) 2館券・4館券とは、当館を含む市内の6館のうち、2館または4館を利用できる共通券です。

表1 平成19年度 盛岡市遺跡の学び館利用者数

2 学芸事業

今年度の当館主催の学芸事業としては、企画展示室において企画展、テーマ展、19年度調査資料展の展示会を開催したほか、当館研修室において企画展関連のフォーラムと6回の学び館セミナー、当館体験学習室および都南公民館等において7回の体験学習会を開催した。このほか、学び館特報や普及資料の発行、発掘調査現地説明会の実施、さらに出前講座、各種実習・研修・行政視察受入、体験学習の受入を行った。また常設展示室の整備および資料管理システム整備等を行うにあたっては、国庫補助事業（埋蔵文化財保存整備活用事業）を活用した。

【展示会】

・第6回企画展 盛岡ゆいとびあミュージアムネットワーク共同企画事業

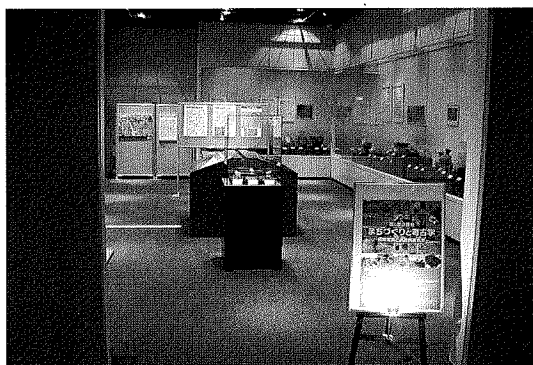
「まちづくりと考古学～盛南開発と遺跡発掘調査～」 会場 当館企画展示室

実施日 平成19年10月2日(火)～20年1月20日(日) 来場者数 3,187名 展示資料数 117点

展示構成 I まちづくりと考古学～日本の考古学の現状～ II 盛南地区の遺跡～盛南開発と発掘調査～
III 遺跡のこれから～遺跡の活用～

概要 年間1万件を超える我が国の埋蔵文化財発掘調査のおよそ8割以上は私たちの生活に密着した各種開発が原因となっている。開発にともない破壊される遺跡と調査によって明らかにされる歴史。わが国の埋蔵文化財を取り巻く環境の変化と明暗について、本市の盛南開発（盛岡南新都市土地区画整理事業）との関連を中心に、大規模な再開発事業にともなって行われている発掘調査の成果を紹介し、開発とともに消えた遺跡のこれからのあり方を考える視点で実施した。なお、この企画展は盛岡市中央公園内にある岩手県立美術館、盛岡市先人記念館、盛岡市子ども科学館、本館の4館と隣接する原敬記念館、太田地区の志波城古代公園の6施設が構成団体となっている「盛岡ゆいとびあミュージアムネットワーク（もりとびあねっと）」の共同企画の一環として実施したものである。

作成物 ポスター・チラシ・展示図録・展示解説シート



展示会場



展示会場



展示会場



ポスター

・第25回埋蔵文化財調査資料展「盛岡を発掘する」—平成19年度調査速報—

実施日 平成20年2月1日(金)～6月22日(日) 来場者数 2,967名 展示資料数 93点
 展示遺跡 館遺跡(第20次) 繫V遺跡(第34次) 薬師社脇遺跡(第6次) 百目木遺跡(第28次)
 宿田南遺跡(第9次) 盛南地区遺跡群(飯岡才川・大宮北・台太郎・矢盛遺跡ほか)
 概要 平成19年度の発掘調査の成果を速報展として、盛岡市内で発掘された遺跡の主な出土遺物やパ
 ネルを展示した。
 作成物 ポスター・チラシ・解説パンフレット・展示解説シート

・テーマ展「発掘された“いろ”」

実施日 平成19年7月1日(日)～9月24日(月) 来場者数 2,734名 展示資料数 140点
 展示遺跡 柿ノ木平遺跡 大館町遺跡 上平遺跡 宇登遺跡 川目A・C遺跡 台太郎遺跡 盛岡城跡 ほか
 展示構成 「縄文の“いろ”」「古代の“いろ”」「中世の“いろ”」「江戸の“いろ”」
 概要 考古資料の“いろ”に注目し、各時代の技術やその背景などをわかりやすく紹介した。
 作成物 ポスター・チラシ・解説パンフレット

【フォーラム】

「まちづくりと考古学」

日時 平成19年10月21日(日)13:30～16:30 会場 当館 研修室 聴講者 37名
 基調講演 「世界遺産のしくみ・考古学とまちづくり」
 講師 文化庁文化財調査官 市原富士夫氏
 フォーラム パネリスト 市原富士夫氏 藤原洋氏(都市再生機構岩手都市開発事務所事業計画課長)
 藤村幸雄氏(「ゆいネット盛南」理事)
 コーディネーター 大崎啄夫氏(盛岡市文化振興事業団事務局次長)
 概要 第6回企画展「まちづくりと考古学～盛南開発と遺跡発掘調査～」の関連行事として、市原富士
 夫氏から基調講演をいただいたあと、「まちづくりと考古学」をテーマに、大崎氏の進行で、市原
 氏を含む3名のパネリストによるフォーラムを開催した。盛南開発(盛岡南新都市土地区画整理事
 業)にともなう発掘調査で判明した遺跡とその成果をまちづくりに生かす方法などについて、様々
 な提言をいただいた。

【学び館セミナー】(会場は、当館研修室)

開催日	タイトル・講師	聴講者
平成19年5月20日	旧石器・縄文時代のもりおか① 当館 佐々木亮二文化財主事	46人
平成19年7月29日	弥生・古墳時代のもりおか 当館 菊地幸裕文化財主査	29人
平成19年9月23日	旧石器・縄文時代のもりおか② 当館 神原雄一郎文化財主任	29人
平成19年11月18日	奈良・平安時代のもりおか 当館 今野公顕文化財主事	34人
平成20年1月20日	中世・近世のもりおか 当館 室野秀文文化財主査	43人
平成20年3月2日	平成19年度の調査成果報告 当館 鈴木賢治文化財調査員 浅沼のぞみ文化財調査員 今野公顕 佐々木亮二	97人

当館職員が調査や研究の成果などを市民に平易に紹介するもので、本年度はこれまでの発掘調査の成果を、時代別に紹介しながら、本市の歴史についてわかりやすく解説した。6回目は、埋蔵文化財調査資料展「盛岡を発掘する」平成19年度調査成果速報に合わせて、本年度の調査成果の報告会を開催し、各遺跡の調査成果について担当職員が解説した。

【体験学習会】(会場は当館体験学習室、ただし第20回の発掘調査体験は薬師社脇遺跡、第24回のウォーキングは現地、第26回の調理体験は都南公民館にて実施)

開催日	タイトル・講師	参加者
平成19年6月10日	第20回 「考古学者になってみよう」発掘調査体験(現場)	37人
平成19年7月1日	第21回 「縄文土器をつくってみよう」	39人
平成19年8月5日	第22回 「縄文土器を野焼きしてみよう」 ※荒天のため中止	—

平成19年9月9日	第23回①「やきものをつくってみよう（製作）」	6人
平成19年9月16日	第23回②「やきものをつくってみよう（削り）」	4人
平成19年10月7日	第24回「本宮・太田の歴史を歩こう」（共催事業）	37人
平成19年11月11日	第25回「コハクで勾玉をつくってみよう」 講師 佐々木和久氏（久慈琥珀博物館長）	29人
平成19年12月16日	第26回「古代食をつくってみよう」講師 梅津末子先生（料理研究家）	32人

第20回の発掘調査体験は毎年人気のあるメニューで、多くの参加者に大変喜ばれた。第23回の「やきものづくり」は初めて実施したものであるが、参加者が少なかったことが残念であった。第25回の勾玉づくりでは、久慈琥珀博物館長の佐々木氏の琥珀にまつわるお話を聞きながら、琥珀を材料に勾玉づくりを行い好評であった。第26回の調理体験では、例年同様梅津末子氏を講師としてお招きし、参加者が自ら調理しながら、できあがった料理を味わった。

【個人体験学習会】

夏休み期間（平成19年8月1日～8月19日）と冬休み期間（平成20年1月4日～1月20日）に予約不要で勾玉づくり・拓本づくり・土玉彩色・火おこしの体験が行うことができる機会を提供し、2期間延べ502人の利用があった。

【現地説明会】

開催日時	遺 跡 名 (所在地)	参加者
平成19年6月2日 13:00～14:30	宿田南遺跡第9次調査現地説明会（北天昌寺地内）	160人

前年度から継続して調査を実施していた遺跡であるが、その概要が明らかになったことから、現地での説明会を開催した。遺構は礫石経を納めた経塚1基と盛土遺構および近世の土坑墓24基であったが、東北でも類例の少ない中世につくられた経塚とあって、市民の関心が高く、160人の見学者が訪れた。

【学芸関係刊行物】

件 名	発行日	部数	販売価格
第6回企画展展示図録 「まちづくりと考古学～盛南開発と遺跡発掘調査～」	平成19年10月1日	400部	500円
第25回埋蔵文化財調査資料展「盛岡を発掘する」解説パンフレット	平成20年1月15日	2,000部	無料配布
遺跡の学び館特報	平成20年3月25日	500部	無料配布
もりおかの遺跡「大館町遺跡」	平成20年3月28日	1,000部	無料配布

当館実施事業を広く関係機関や学校などに広報する「特報」及び展示会毎に図録や解説パンフレットを作成している。「特報」とパンフレットは平易な内容で、図録は一般から愛好者までが読めるような内容を心がけている。

【研修・実習受入】

開 催 日	件 名	参加者
平成19年4月18日	盛岡市教育委員会初任者（教員）研修	15人
平成19年8月21日～25日	博物館実習（計5日間）（東北学院大学3人 都留文科大学1人）	4人
平成19年10月14日	文部科学省職員教育行政等実務研修	1人
平成19年10月22日～24日	市職員異職場体験（盛岡市職員 3日間）	5人

当館では、博物館実習をはじめ、各種研修・実習を積極的に受け入れることとしている。当館の博物館施設としてのあり方ばかりではなく、埋蔵文化財センターとしての機能について、実際の発掘現場調査の体験も織り交ぜ、資料の調査・整理・保管・展示活用という一連の流れを体験できるメニューを作成している。

【講師派遣】

1 出前講座

開催日時	内 容	講 師	依頼団体（会場）	参加者
平成19年7月23日 14:00～14:45	もりおかの遺跡 （埋もれた先人たちの軌跡）	室野秀文	第二松園ハイツ 通所介護事業所 （第二松園ハイツ）	24人
平成19年11月24日 13:30～15:30	遺跡から見た 「盛岡周辺の平泉文化」	室野秀文	生活楽習研究会盛岡ひ・ストーリー （西部公民館）	19人
平成20年2月15日 14:15～15:30	もりおかの遺跡 （埋もれた先人たちの軌跡）	今野公顕	盛南地区自治公民館連絡協議会 （仙北地区活動センター）	36人

この制度は、盛岡市が市政に対する理解を深め、市民参加のまちづくりを推進するため職員を講師として無料で派遣するもので、19年度当館では3件の依頼を受けて実施した。市内の各地域に係る歴史講座を中心に、土器や勾玉づくりなどの体験学習メニューも用意している。特に学校等から当館の体験学習室で収容不可能な対象人数のお話があった場合には、学校等に出向いて出前講座を行う場合がある。

2 その他

開催日時	内 容	講 師	依頼団体 (会場)	参加者
平成19年8月4日～5日	宮古市遺跡見学会・講演会	室野秀文	宮古市教育委員会 (宮古市山口館跡、ほか)	計45人
平成19年8月7日	盛岡市教育研究所 第1回公開講座	室野秀文 今野公顕	盛岡市教育研究所 (遺跡の学び館)	10人
平成19年8月8日	自然石での勾玉製作指導	神原雄一郎	盛岡市西部公民館(同館)	20人
平成19年11月3日	体験学習指導	神原雄一郎	宮古市教育委員会 (宮古市崎山貝塚)	約60人
平成19年12月27日	盛岡市教育研究所 第2回公開講座	佐藤和男	盛岡市教育研究所 (遺跡の学び館)	6人
平成20年1月8日	滝沢村歴史を語る会講座	室野秀文	滝沢村歴史を語る会 (滝沢村ふるさと交流センター)	40人
平成20年1月10日	学校等職員研修会 (遺跡から見た盛岡の歴史)	佐々木亮二	盛岡市教育委員会 (遺跡の学び館)	73人
平成20年2月23日	西部公民館縄文講座	佐々木亮二	盛岡市西部公民館(同館)	48人
平成20年3月8日	西部公民館縄文講座	神原雄一郎	盛岡市西部公民館(同館)	36人

【研修派遣】

期 間	内 容	派遣職員	会 場
平成19年12月10日～14日	埋蔵文化財担当者専門研修 「測量外注課程」	菊地幸裕文化財主査	独立行政法人国立文化財 機構 奈良文化財研究所
平成20年1月26日	国立歴史民俗博物館 平成19年度研究報告会	佐々木亮二文化財主事	国立歴史民俗博物館
平成20年2月6日～8日	文化財等取扱講習会	浅沼のぞみ文化財調査員	岩手県立博物館

【蔵書】

形 態	分 野	寄贈冊数	購入冊数	計 (冊)	
調査報告書		11,439	1	11,440	
一般図書	考古学	97	51	148	
	歴史学	48	21	69	
	民俗学	1	2	3	伝統芸能
	美術工芸	4	21	25	建築物
	自然科学	0	1	1	動植物
	文化財保護	5	2	7	保存計画・保存修復・復元・一般文化財
	その他	4	2	6	事典
資料集		972	193	979	図録・解説書・博物館パンフ・資料目録・発表要旨・地図
全集		150	187	343	3冊以上のもの
論集		31	3	33	論文集
通史		233	0	236	市町村史
逐次刊行物		2,038	699	2,737	雑誌・年報・紀要・研究報告
計		15,022	1,005	16,027	

埋蔵文化財センターとして、全国各地の遺跡発掘調査報告書や遺跡関係書籍、および歴史関連書籍や論文集、一般刊行物、各種パンフレットなどの保管収集公開をしている。これらの蔵書は、図書室の開架棚にあり、来館者が自由に閲覧できるものと、図書資料室に収蔵のうえ受付に申請して閲覧できるものがある。

【収蔵資料管理システム】

当館内に展示・収蔵されている出土遺物・記録類について、その情報の管理を一元化し、検索・集計・編集・出力等の業務支援が可能なシステムを構築するため、17年度から国庫補助事業（埋蔵文化財保存活用整備事業）を活用して事業を進めているもので、本年度は全体計画の3年目にあたり、すでに導入済みの既設システムの閲覧及び検索の利便性をより高めるためのメンテナンス及びサポートとインターネット公開仕様の検討・作成を行なった。

【常設展示室の更新・整備】

旧玉山村（現盛岡市玉山区）との合併によって、新たに旧石器時代の遺跡が市内遺跡として追加されたことから、年代別に出土品等を展示している遺跡ディスカバリー内に、旧石器コーナーの設置とそれともなう展示パネル等の更新を行なった。

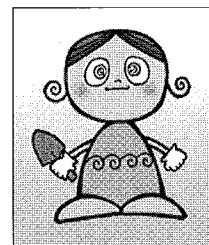
【遺跡の学び館サポーターズクラブ】

当館の体験学習など行事運営を支援・協力してくださるボランティアの団体であるサポーターズクラブが正式発足以来2年目を迎えた。当館行事の体験学習事業への支援を中心に活動していただいたほか、自主活動として会員研修旅行（研修先 八戸市縄文博物館・八戸市博物館・根城 期日：平成19年9月29日 参加者9人）の開催、サポーターズクラブ通信の発行などを行った。また、毎年開催されている志波城まつりには会場設営等の支援も含め、開設した体験コーナーにおいて火おこしや勾玉作りへの製作指導なども行なった。行事支援以外にも、施設の環境整備等において草刈りなどの協力もいただいている。

【みっけクラブ】

歴史や考古学に興味のある子どもたちに対して、遺跡や文化財について学び、体験する機会を提供するため、小・中学生を対象に募集を行い、年間を通じて体験学習プログラムに沿った活動を行なった。本クラブは平成18年度から募集を開始し、本年度の会員は2期生となり、小学生12人を対象に活動を行なった。会員には当館主催の体験学習会の先行案内を行い、優先的に参加でき、かつ年度内有効の会員証を発行し、展示室使用料が免除となる特典がつくほか、クラブ独自のイベントも実施した。毎回応募者数が定員を超えるなど、非常に人気が高く、会員の出席率は非常に高くなっている。

なお、“みっけ”とは、当館が開館した平成16年に作成したマスコットキャラクターの愛称である。



みっけ



テーマ展「発掘された“いろ”」



第25回埋蔵文化財調査資料展



宿田南遺跡現地説明会



フォーラム会場



体験学習会「発掘調査体験」



体験学習会「やきものをつくってみよう」



体験学習会「古代食をつくってみよう」



体験学習会「縄文土器をつくってみよう」

3 埋蔵文化財発掘調査

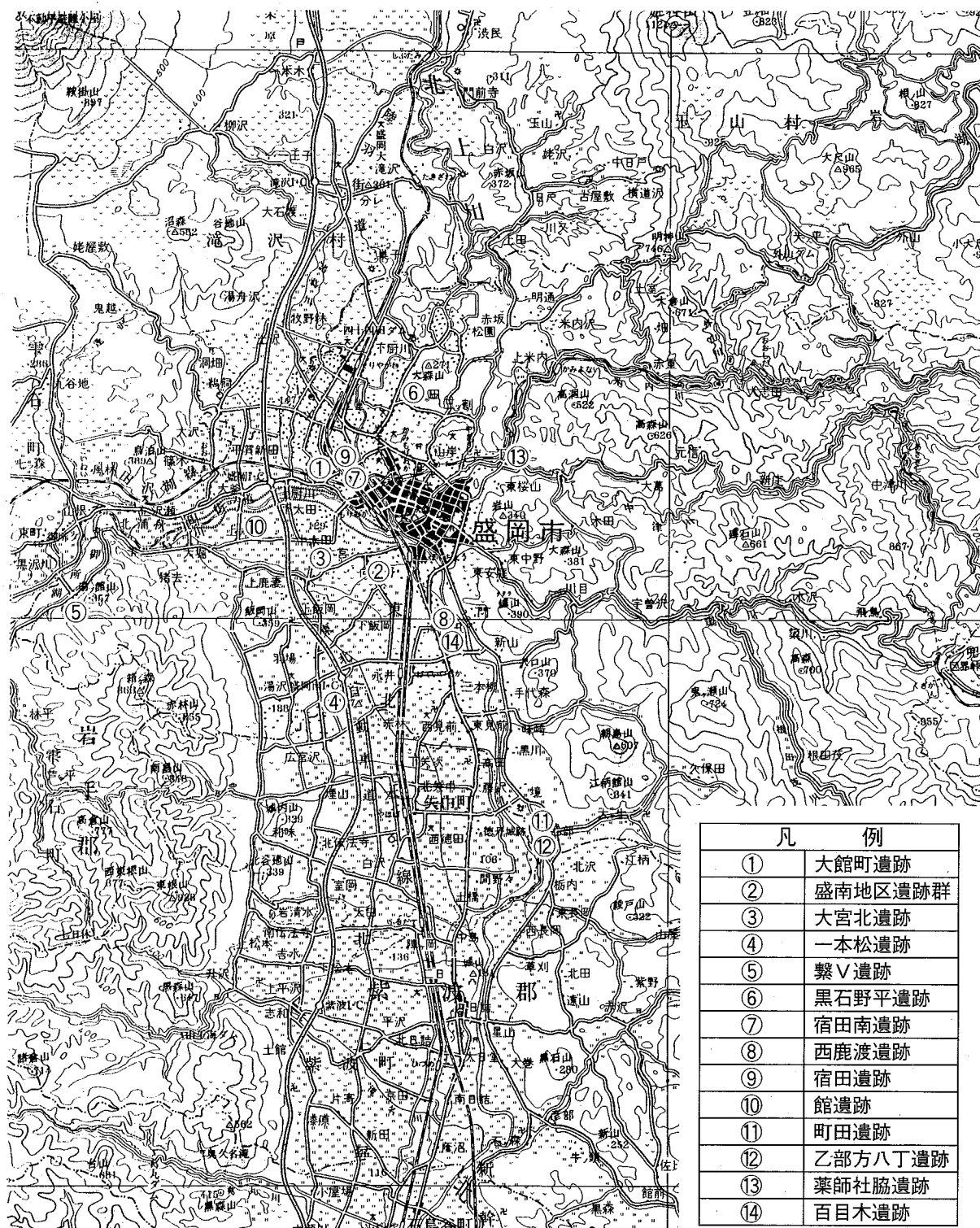
平成19年度は24件の発掘調査を実施した。史跡の学術調査が1件、盛岡南新都市開発整備事業（盛南開発）による調査が9件、市道建設や公共下水道工事、学校建築等に伴う調査が4件、宅地造成等民間開発による調査が3件、個人住宅建築に伴う調査が7件となった。

主な成果としては、まず縄文時代では、繫V遺跡（第34次調査）から中期の土坑が約100基見つかっている。貯蔵用と墓用の2種類があり、墓群の外側に貯蔵穴群が広がり、分布域が異なっていた。遺物としてヒスイ製の犬歯2点と蛇紋岩製犬歯が出土している。薬師社脇遺跡（第6次調査）では早期の竪穴住居跡が20棟みつき、多量に出土した土器・石器とあわせて重要な成果を得た。そのほか陥し穴状土坑が飯岡才川遺跡（第14次調査）・黒石野平遺跡（第8次調査）・宿田遺跡（第9次調査）で発見されている。学術調査による内容確認を実施した大館町遺跡（第78次調査）では、攪乱の少ない箇所だけで中期の竪穴住居跡が推定で15棟確認されており、調査区全体では30棟を超える竪穴住居跡が分布しているものと考えられる。古代では、飯岡才川遺跡（第14次調査）・台太郎遺跡（第59・61次調査）・西鹿渡遺跡（第21次調査）で奈良時代の竪穴住居跡が数棟見ついているほか、一本松遺跡（第8次調査）や薬師社脇遺跡（第6次調査）からは平安時代の集落跡が見つかっており、

表2 平成19年度発掘調査（本調査）一覧

No.	遺跡名	回数	所在地	調査原因	調査期間	調査面積 (㎡)	概要
1	大館町遺跡	78	大新町地内	学術調査 (県史跡内容確認)	12/3~12/14	225	縄文時代竪穴住居跡15棟(検出のみ) 平安時代溝跡1条
2	本宮熊堂B遺跡	32	本宮字熊堂51-2ほか	土地区画整理	4/24~4/28	484	古代以降溝跡 旧河道
3	飯岡才川遺跡	14	飯岡新田2-46-3ほか	土地区画整理	4/24~6/18	6,451	縄文時代陥し穴状土坑 奈良時代竪穴住居跡 古代以降溝跡
4	台太郎遺跡	59	向中野字向中野9ほか	土地区画整理	7/5~9/26	1,830	奈良時代竪穴住居跡 溝跡 ピット 掘立柱建物跡
5	台太郎遺跡	60	向中野字向中野40-8ほか	土地区画整理	8/1~9/6	791	ピット 土坑
6	台太郎遺跡	61	向中野字向中野17-4ほか	土地区画整理	10/26~11/16	610	奈良時代竪穴住居跡 土坑
7	宮沢遺跡	13	本宮字宮沢44-1ほか	土地区画整理	9/12	147	遺構・遺物なし
8	矢盛遺跡	15	飯岡新田3-65-2ほか	土地区画整理	10/22~12/14	5,259	中世以降の井戸跡・土坑・ 掘立柱建物跡・ピット
9	矢盛遺跡	16	飯岡新田4-1-1ほか	土地区画整理	11/1~11/3 11/21~11/22	160	遺構・遺物なし
10	矢盛遺跡	17	飯岡新田2-19-5ほか	土地区画整理	11/9~11/27	1,114	溝跡 土坑 ピット
11	大宮北遺跡	13	本宮字大宮98-4地先ほか	公共下水管敷設工事	5/28	16	平安時代溝跡
12	一本松遺跡	8	矢巾町大字赤林2-208-3ほか	道路(市道)建設	8/3~9/14	395	平安時代竪穴住居跡 土坑 溝跡
13	繫V遺跡	34	繫字館市114-1ほか	学校建築	9/18~11/30	288	縄文時代中期土坑・貯蔵穴群
14	黒石野平遺跡	9	緑ヶ丘三丁目2-55	駐車場増設	10/4~10/5	10	縄文時代早期土器片
15	大宮北遺跡	11	本宮字小幡5-1	個人住宅新築	4/11~4/24	1,009	平安時代大溝
16	宿田南遺跡	9	北夕顔瀬町38	個人住宅の車庫建築	4/16~8/2	126	中世縁塚 近世土坑墓群
17	西鹿渡遺跡	21	三本柳2-39-65	個人住宅建築	4/16~4/27	62	奈良時代竪穴住居跡 ピット
18	宿田遺跡	11	前九年2-104-53ほか	個人住宅新築	4/27~5/16	56	陥し穴状土坑 縄文時代早期遺物包含層
19	館遺跡	20	上太田館58	個人住宅建築	6/14~7/24	107	戦国時代堀跡 溝跡 近世土坑墓
20	町田遺跡	15	乙部30-39	個人住宅建築(増築)	9/27~10/3	67	平安時代竪穴住居跡
21	乙部方八丁遺跡	11	乙部32-7-6,9	個人住宅新築	12/6	46	縄文時代土坑 平安時代集落
22	薬師社脇遺跡	6	浅岸字二ツ森地内	宅地造成	4/9~8/31	2,756	縄文時代早期集落 古代集落
23	黒石野平遺跡	8	緑ヶ丘三丁目2-31	宅地開発	10/1~10/5	380	縄文時代陥し穴状土坑
24	百目木遺跡	28	三本柳5-16-1ほか	共同住宅建築	11/19~12/18 (試掘6/22~6/25)	255	奈良時代竪穴住居跡 土坑 ピット
				計		20,458	

乙部方八丁遺跡（第11次調査）や町田遺跡（第15次調査）からも同期の竪穴住居跡が検出された。本宮熊堂B遺跡（第32次調査）からは古代以降の溝跡や旧河道跡がみついているほか、大宮北遺跡（第13次調査）からは平安時代の大溝跡が検出された。中世では、前年度からの継続調査として実施した宿田南遺跡（第9次調査）において、経石を納めた経塚の精査を行なった結果、経石約32,000点が出土している。また、本遺跡からは近世の土坑墓も多数発見されている。矢盛遺跡（第15次調査）からは中世以降の井戸跡6基が確認されている。



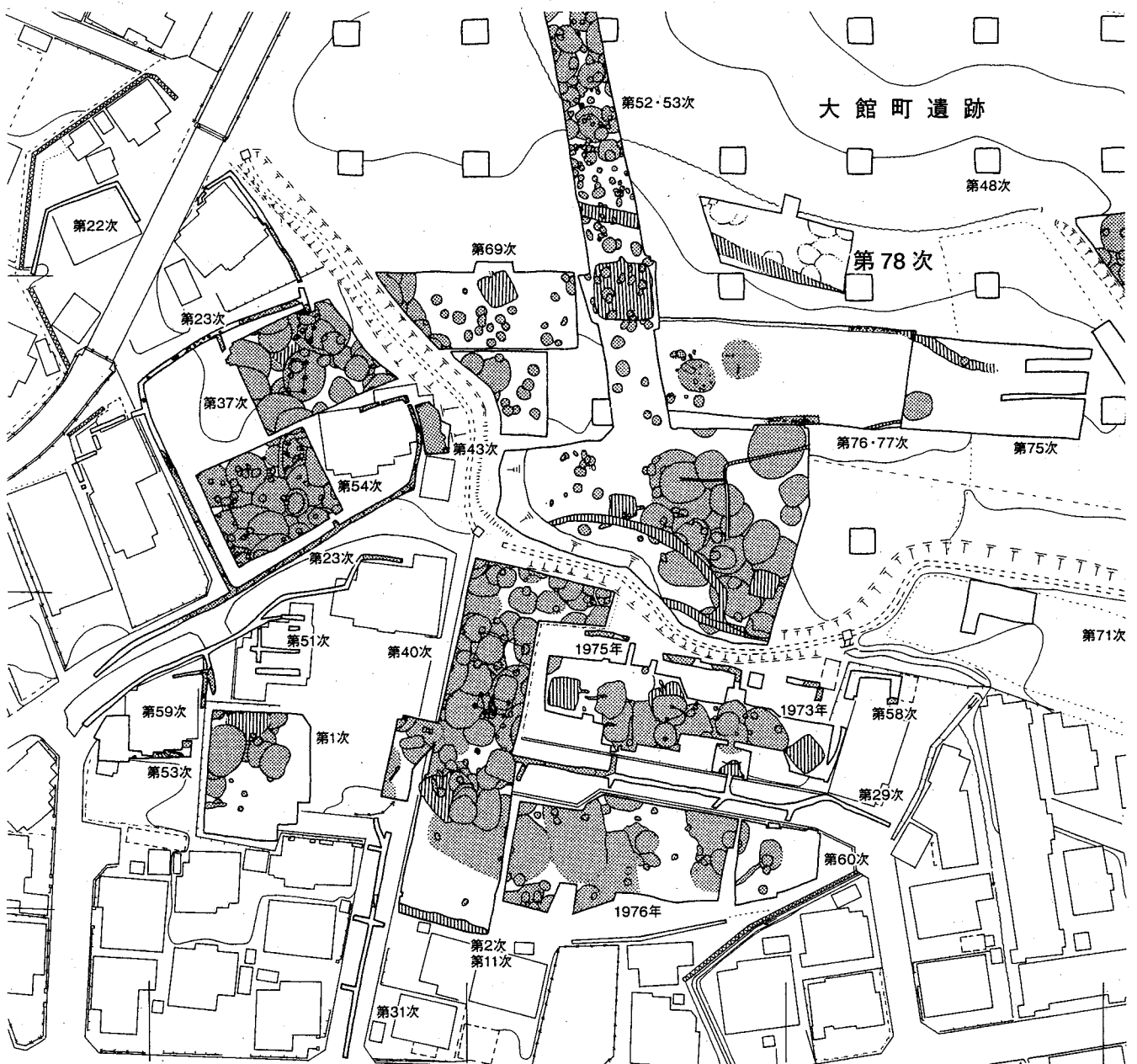
第2図 平成19年度調査遺跡位置図 (S = 1 : 200,000)

○ 学術調査

おおだてちょう
(1) 大館町遺跡第78次調査

集落中央の広場と北東竪穴住居域の境界範囲を確認する目的で調査を実施した。調査面積は218㎡である。調査区全域に暗褐色土層が広がっており、縄文時代中期の竪穴住居跡の埋土と推測されたが、調査区中央部付近は山芋等の根菜類の攪乱が広がっており、検出作業は困難であった。竪穴住居跡は比較的攪乱の少ない西側と東側で検出した結果、推定されるプランを15棟確認した。中央部にも竪穴住居跡が広がっていると推測されることから、調査区全体では30棟を超える竪穴住居跡が分布していると考えられる。ほかに調査区南西から南東にかけてのびる溝跡が確認されている。なお、本調査の詳細な成果については、「盛岡市内遺跡群—平成18・19年度発掘調査報告—」にて報告済みである。

(佐々木亮二)



第3図 大館町遺跡第78次調査区位置図

○ 公共事業関連

(2) 盛南地区遺跡群

— もとみやくまどう
本宮熊堂B遺跡第32次調査
だいたろう
台太郎遺跡第59～61次調査
やもり
矢盛遺跡第15～17次調査 —

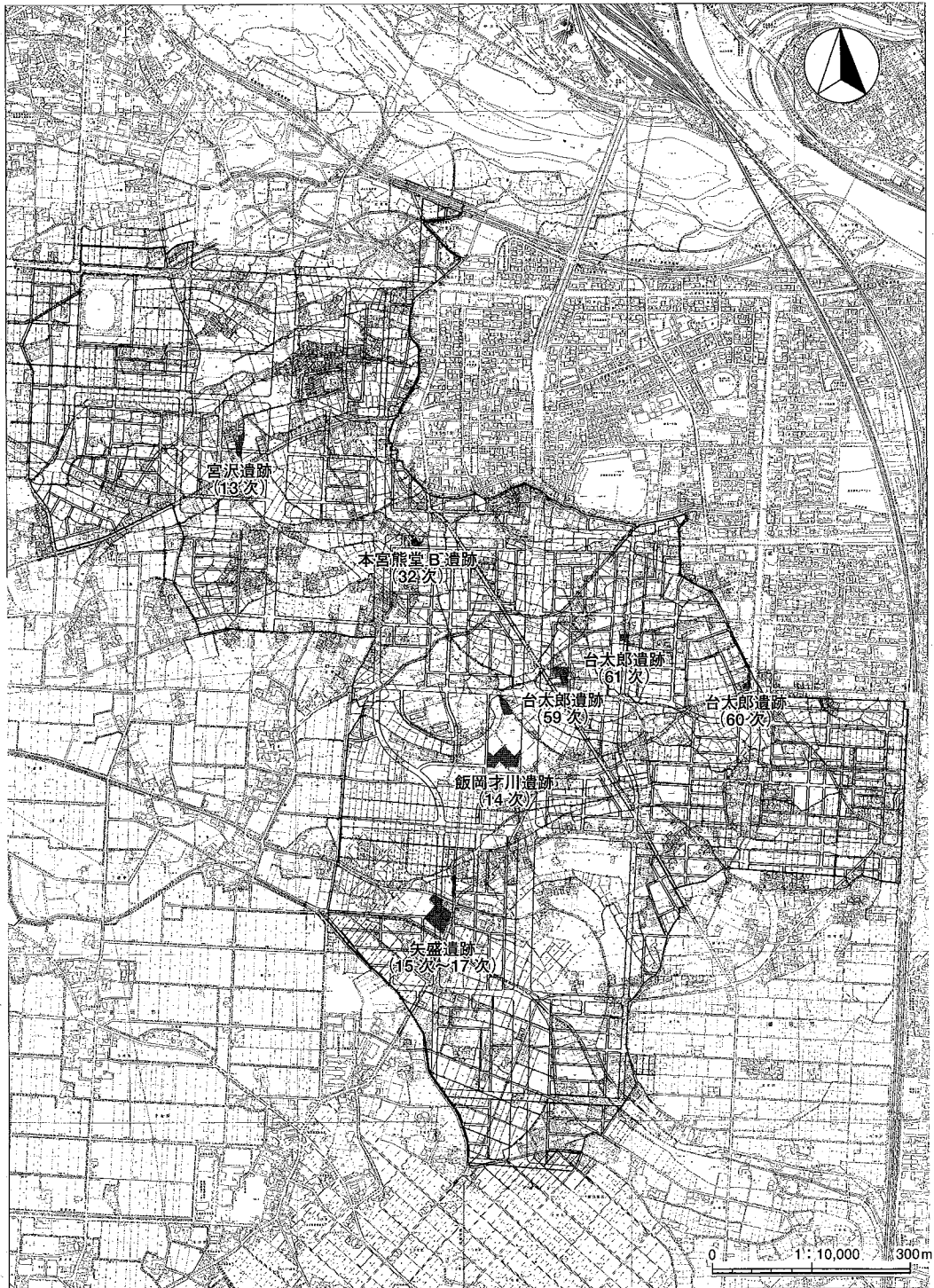
いいおかさいかわ
飯岡才川遺跡第14次調査
みやざわ
宮沢遺跡第13次調査

盛岡南新都市開発整備事業（盛南開発）にともなう発掘調査で、5遺跡で9件実施した。本宮熊堂B遺跡第32次調査は調査区南西部隅に砂礫層の広がりがあり、その北東側に広がる黒色土～暗褐色土の広がり埋土の状況と壁面の立ち上がり具合から、旧河道の堆積土と判断された。この堆積土からは摩滅した土器片が出土している。これまでの周辺の調査成果から、本調査区は東西に走る大きな旧河道の南岸にあたると思われる。飯岡才川遺跡第14次調査は、北側調査区において竪穴住居跡2棟が、南側調査区からは溝跡4条と縄文時代の陥し穴状土坑が5基確認された。竪穴住居跡は2棟ともにカマドを有する隅丸方形を呈し、奈良時代の土師器（甕）などが出土した。南側調査区で検出された溝跡は、概ね南東―北西に横断するもので、あかやき土器片、須恵器片が数点出土している。台太郎遺跡第59次調査では、古代以降の溝跡・竪穴住居跡が調査区北西側にいくつも切り合っているのが確認された。西側においては、第24次調査において溝跡・竪穴住居跡が確認されており、今次調査で検出された竪穴住居跡の一部は一連の遺構と考えられる。遺構は調査区北西側に集中しており、土師器・須恵器など古代の土器も多く見つかっている。台太郎遺跡第60次調査では、調査区北側にピット62口が検出されたが、建物跡を構成するような配置は認められない。台太郎遺跡第61次調査では調査区北縁に竪穴住居跡が1棟検出されたが、大半が調査区域外に広がるため、詳細は不明であるが、8世紀後半代と考えられる土師器（甕）片が出土している。近世の土坑は、調査区南側で検出された。遺構の形態から室の可能性もあるが、周辺及び基底面から柱穴は検出されていないことや、埋土の状況などから溜め池状の土坑の可能性も考えられる。宮沢遺跡第13次調査からは遺構及び遺物とも検出されなかった。矢盛遺跡第15次調査では調査区東側に溝跡が6条、西側に井戸跡6基、掘立柱建物跡1棟、一本柱列、土坑7基のほか、ピットが多数検出されたが、遺物は確認されなかった。矢盛遺跡第16次調査では、遺構・遺物とも確認されていない。矢盛遺跡第17次調査では調査区北側で溝跡が5条、土坑1基、ピット3口が検出された。遺物はあかやき土器の坏小破片と土師器甕の小破片のみである。

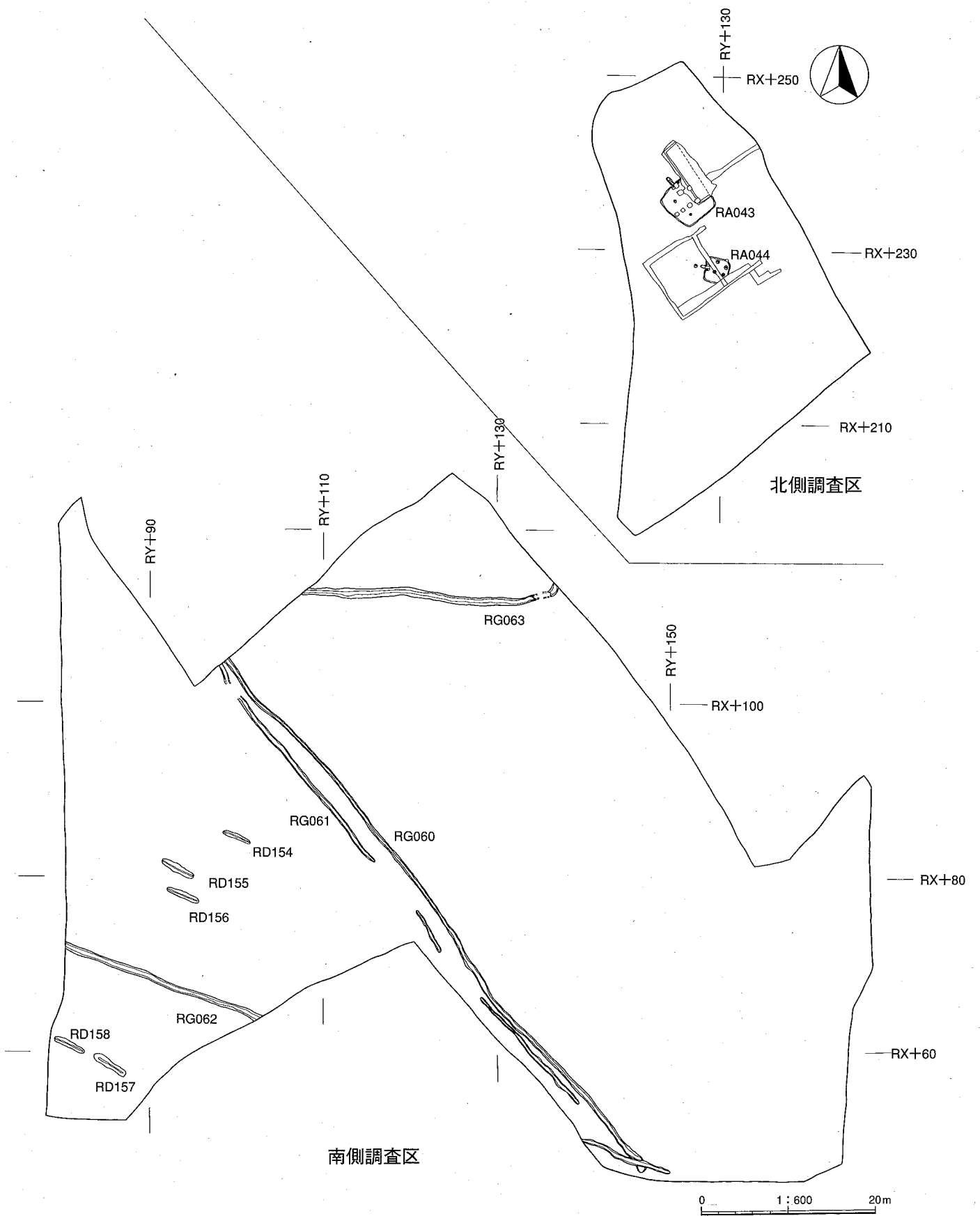
（菊地幸裕・浅沼のぞみ）

表3 平成19年度盛南開発地区発掘調査一覧

遺跡名	次数	調査面積 (㎡)	調査期間	検出遺構	出土品
本宮熊堂B遺跡	32	484	4/24～4/28	古代以降溝跡1条 旧河道跡1条	あかやき土器片
飯岡才川遺跡	14	6,451	4/24～6/18	奈良時代竪穴住居跡2棟 古代以降溝跡4条 縄文時代陥し穴状土坑5基	土師器片 須恵器片 あかやき土器片
台太郎遺跡	59	1,830	7/5～9/26	奈良時代竪穴住居跡2棟 古代以降溝跡14条 掘立柱建物跡2棟 ピット40口 土坑2基	古代の土器
台太郎遺跡	60	791	8/1～9/6	ピット62口 土坑4基	古代土師器片
台太郎遺跡	61	610	10/26～11/16	奈良時代竪穴住居跡1棟 古代以降土坑1基 近世土坑1基 近世以降土坑1基 年代不明土坑1基	奈良時代以降土師器 近世以降陶磁器片
宮沢遺跡	13	147	9/12	なし	なし
矢盛遺跡	15	5,259	10/22～12/14	溝跡6条 井戸跡6基 土坑7基 掘立柱建物跡1棟 一本柱列 ピット多数	なし
矢盛遺跡	16	160	11/1～11/3 11/21～11/22	なし	なし
矢盛遺跡	17	1,114	11/9～11/27	溝跡5条 土坑1基 ピット3口	あかやき土器坏片 土師器甕小破片



第4図 平成19年度盛南地区調査遺跡



第5図 飯岡才川遺跡第14次調査遺跡全体図

○ 公共事業関連

(3)-1 ^{おおみやきた}大宮北遺跡第13次調査

上下水道管敷設にともない、調査を実施した。第11次調査で検出された溝跡に連続するものである。埋土中からは10世紀中葉から後葉のものと考えられるあかやき土器が出土している。なお、本調査の詳細な成果については「盛岡市内遺跡群—平成18・19年度発掘調査報告—」にて報告済みである。

(今野公顕)

(3)-2 ^{いっほんまつ}一本松遺跡第8次調査

道路(市道)建設にともない調査を実施した。検出遺構は平安時代の竪穴住居跡6棟、土坑3基、平安時代以降の溝跡が1条、江戸時代の竪穴状遺構が1棟で、遺物はあかやき土器、須恵器のほか、鉄製の鋤先が1点出土した。なお、本遺跡の詳細は「一本松遺跡—市道釜淵谷地・上野線建設関連発掘調査報告書—」(2008年3月刊)で報告済みである。

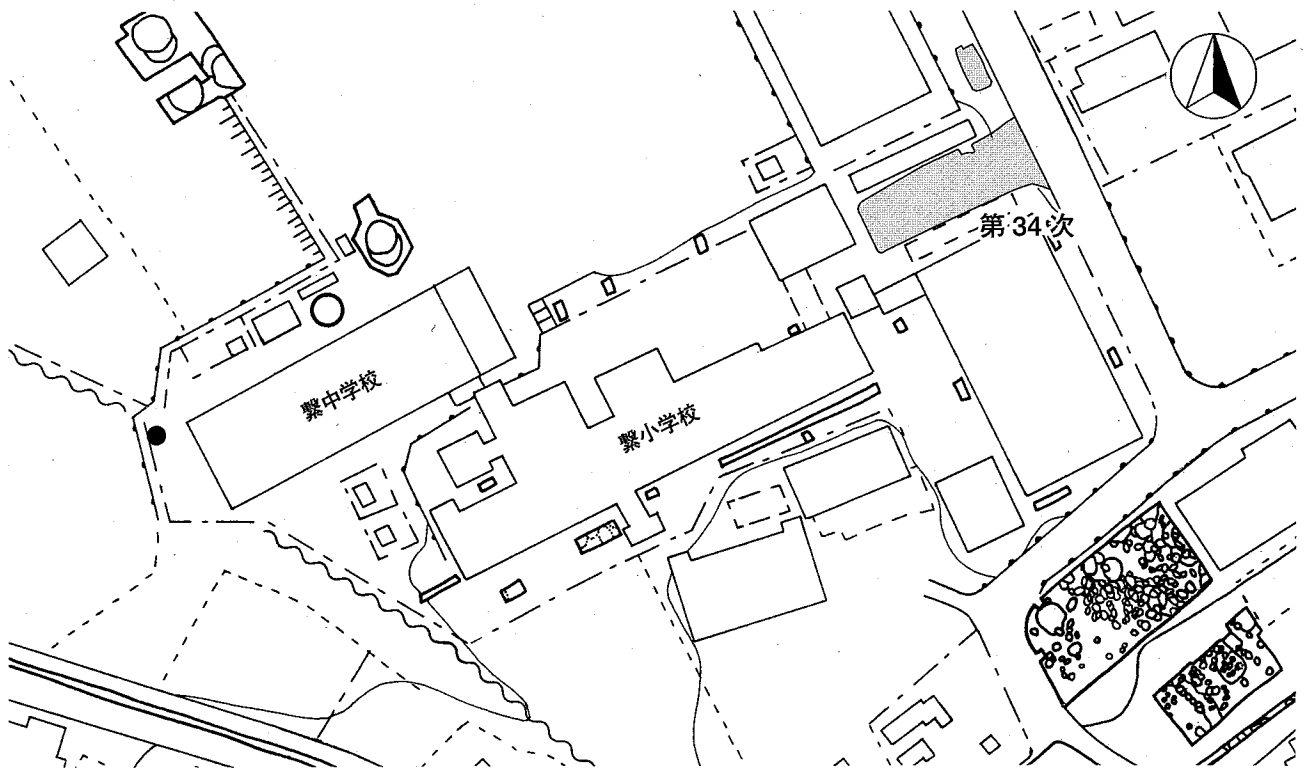
(佐々木亮二)

(3)-3 ^{くろいしの だいら}黒石野平遺跡第9次調査

調査区北西部より縄文時代早期の土器片(貝殻文土器)が3点出土したが、その他の遺構・遺物は確認されなかった(本書3-(12)の黒石平遺跡第8次調査の項参照)。なお本調査の詳細は「黒石野平遺跡—宅地造成に伴う緊急発掘調査報告書—」(2007年12月刊)において報告済みである。(鈴木賢治)

(3)-4 ^{つなぎ}繋V遺跡第34次調査

繋小学校の建設にともない調査を実施した。検出された遺構は縄文時代中期の竪穴状遺構が1棟のほか、土坑が約100基、柱穴が約300口で、土坑及び柱穴が多数発見された。土坑は入り口が狭く、底が広い貯蔵用と楕円形の墓用の2種類に分けられる。墓群の外側に貯蔵穴群が広がっており、それぞれ分布域が異なる。遺物は縄文土器及び石器がコンテナ4箱分出土したほか、ヒスイ製の大珠(垂飾品)が2点、蛇紋岩製大珠1点が出土した。ヒスイ製の大珠は土坑墓から発見されている。(佐々木亮二)



第6図 繋V遺跡第34次調査区位置図(1:1000)

○ 個人住宅建築関連

平成 19 年度は計 7 件調査を実施した。なお試掘調査の結果を踏まえて、工法に遺構保護を講じた (10) の乙部方八丁遺跡 (第 1 1 次調査) 以外の調査の詳細については「盛岡市内遺跡群—平成 18・19 年度発掘調査報告—」にて報告済みである。

(4) ^{おおみやぎた}大宮北遺跡第 11 次調査

調査区を南西—北東に横断する溝跡が 1 条確認された。本年に実施した西側隣接地の第 13 次調査において検出された溝跡と連続するもので、検出された総延長は 10.3 m、規模は最大幅上端 2.61 m・下端 1.95 m、深さは 0.83 m を測った。溝跡からは 10 世紀代に製作されたと考えられるあかやき土器の坏・高台付坏のほか、土師器坏が出土した。(菊地幸裕)

(5) ^{しゆくだみなみ}宿田南遺跡第 9 次調査

第 9 次調査は、昨年に引き続き、経石を納めた経塚、近世の土坑墓、盛土遺構を調査した。経塚は深さ約 80 cm、一辺が 3 × 3m の方形を呈していたようだが、北西部は江戸時代以降に削平されており、残存していなかった。経石は約 32,000 点出土したが、そのうち判読および墨痕の認められるものは、調査終了時点で 187 点を数えた。一字一石と多字一石の 2 種類が出土し、一字一石経はすべて梵字であった。多字一石は両面に隙間なく経典 (法華経・金剛般若波羅蜜経) が書写されており、県内では出土例がないものであった。なお、本調査については平成 21 年度に詳細を報告予定である。

(佐々木亮二)

(6) ^{にしかど}西鹿渡遺跡第 21 次調査

前年に実施した第 20 次調査区の北西隣接地を調査した。第 20 次調査で未検出であった奈良時代の竪穴住居跡 (RA040) の北半分を検出したほか、古代以降の柱穴 2 口も検出されている。遺物は奈良時代の土師器 (坏・甕) が出土している。(室野秀文)

(7) ^{しゆくだ}宿田遺跡第 11 次調査

縄文時代の土坑 6 基 (RD037 ~ 042) が検出されたが、うち 3 基は陥し穴状土坑である。また調査区全域に遺物包含層 1 箇所も検出されている。遺物は縄文時代早期の土器や石器がコンテナ 1/4 ほど出土した。調査の結果、これまでの本遺跡の南部の緩斜面の調査によって、この遺跡は縄文時代早期の集落及び古墳群を中心とした遺跡としてみられていたが、本調査区を含む宿田遺跡北部は、縄文時代の狩猟場であることが確認され、幅広い土地利用が行なわれた遺跡であることが明らかになった。

(室野秀文)

(8) ^{たて}館遺跡第 20 次調査

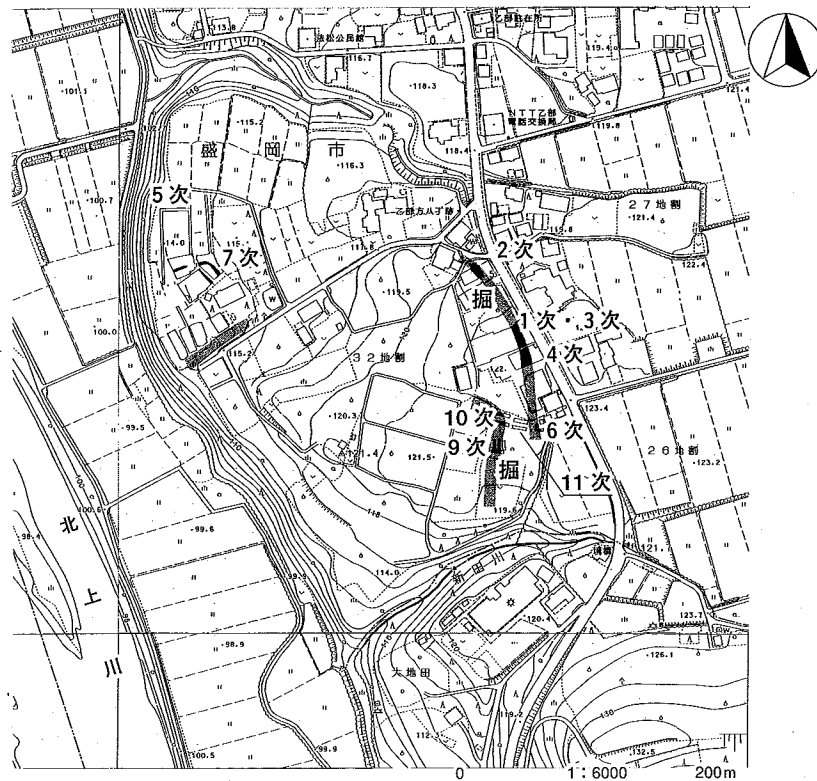
本調査区内は昭和 57 年に住宅増築にともなって実施した第 3 次調査によって、中世以降の堀・溝跡が 4 条、土坑が確認されており、今回の調査ではそれに連続する堀・溝跡の検出が予想されていた。その結果、中世以降の堀跡が 2 条、近世以降の溝跡が 1 条のほか、堀跡の埋土上層から掘り込まれた近世の土坑墓が 10 基検出された。遺物は堀跡底面付近から瀬戸灰釉平碗片、近世の土坑墓から寛永通寶約 30 枚及び銅製の手鏡が出土している。また土師器・須恵器片が堀跡・溝跡の埋土中から多数出土しているが、これらは周辺の竪穴住居跡からの流入したものと考えられる。近世の土坑墓からは人骨 6 体と馬骨 5 体が見つまっている。(今野公顕・浅沼のぞみ)

(9) ^{まちだ}町田遺跡第15次調査

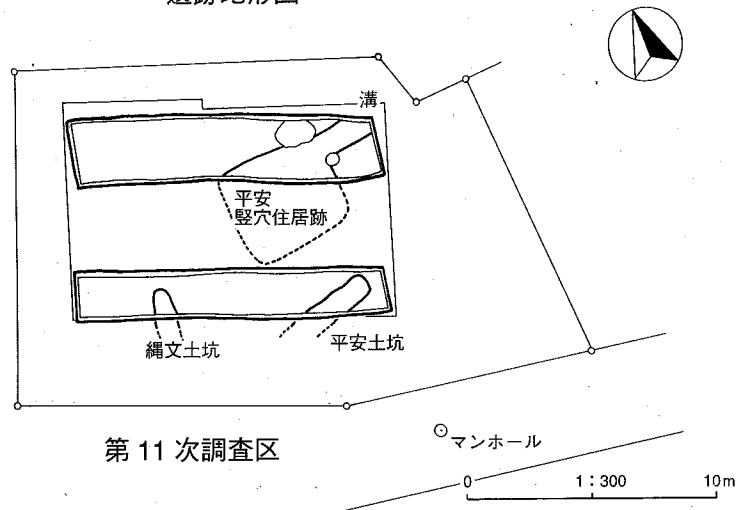
調査区は遺跡の中央南西よりに位置し、検出した遺構は平安時代前期（9世紀）の竪穴住居跡1棟である。出土遺物は須恵器甕の破片、土師器坏及び甕の破片などである。（室野秀文）

(10) ^{おとべほうはちよう}乙部方八丁遺跡第11次調査

試掘調査によって縄文時代の土坑1基のほか、平安時代の竪穴住居跡1棟、同期の溝1条と溝状土坑1基が検出された。なお地権者との協議により、地下遺構に掘削が及ばない工法を採用し、遺構の保護を行なった。（室野秀文）



遺跡地形図



第11次調査区

第7図 乙部方八丁遺跡第11次調査

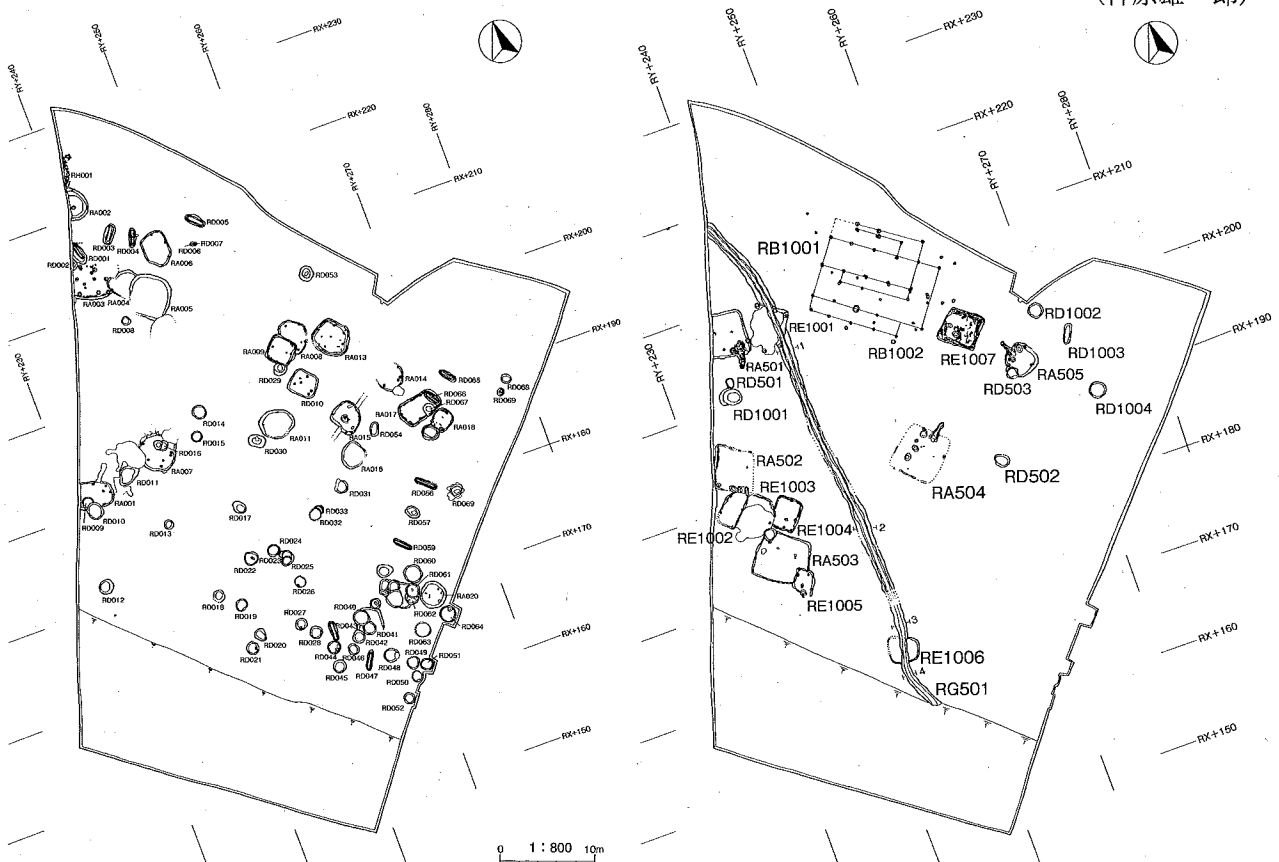
○ 民間開発関連

(11) 黒石野平遺跡第8次調査

宅地造成にともない調査を実施し、縄文時代の陥し穴状土坑が4基検出された。本遺跡は北上川東岸に発達する段丘上に立地し、段丘は北から南にかけて緩やかに傾斜しており、遺構はその傾斜地で検出した。調査区西側に検出されたことから、北上川に近い段丘縁辺に狩猟場が設けられていたと考えられる。時期は遺構から示す遺物が確認されていないが、これまでの市内での発掘調査事例から、縄文時代中期から晩期と考えられる。調査区東端からは縄文時代早期の貝殻文土器片が数点出土した。なお本調査の詳細は「黒石野平遺跡―宅地造成に伴う緊急発掘調査報告書―」（2007年12月刊）において報告済みである。
(鈴木賢治)

(12) 薬師社脇遺跡第6次調査

宅地造成にともない調査を実施した。本遺跡は中津川と米内川の合流点を望む低位段丘上に立地しており、段丘上の平坦面から遺構・遺物が確認された。遺構は、縄文時代では早期の竪穴住居跡20棟、土坑69基、早期を主体とした遺物包含層のほか、後期(?)の配石遺構1基がみつまっている。平安時代では竪穴住居跡5棟、土坑3基、溝跡1条、中世では掘立柱建物跡が2棟、竪穴建物跡7棟及び土坑4基が検出された。遺物は縄文時代の土器・石器がコンテナで21箱、平安時代の土器が同じく10箱ほど出土したほか、中世の古銭22枚が出土している。縄文時代早期の竪穴住居跡や多量に出土した土器・石器は東北地方でも出土例がなく、また土器には関東・中部地方から出土する土器の特徴を描くものもあるなど、当時の文化交流を考えるうえで重要な成果を得た。なお本調査の詳細は「薬師社脇遺跡―宅地造成に伴う緊急発掘調査報告書―」（2008年1月刊）において報告済みである。
(神原雄一郎)



第8図 薬師社脇遺跡第6次調査遺構配置図 (左 縄文時代 右 平安時代以降)

(13) 百目木遺跡第28次調査

□ 遺跡の環境

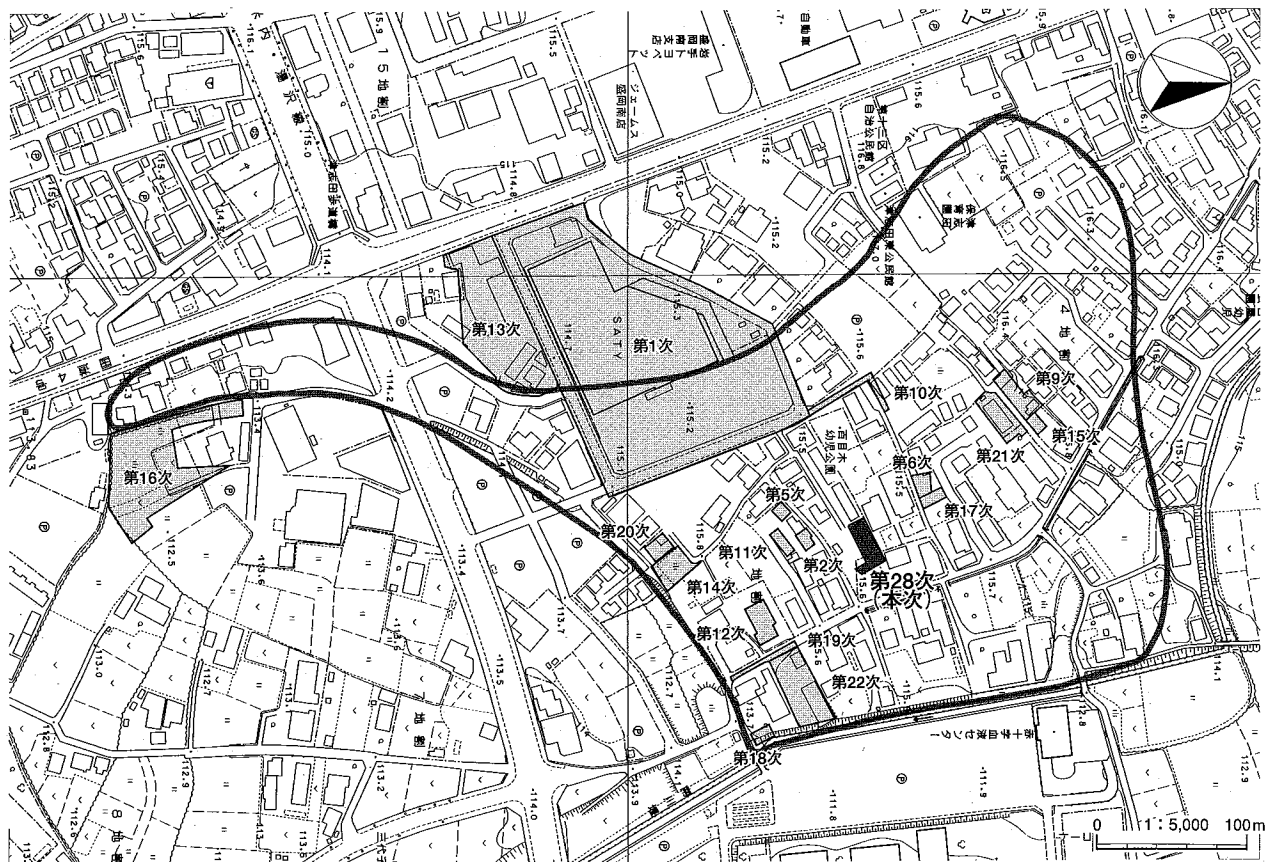
遺跡の位置 百目木遺跡は、盛岡市の市街地から南南東に約4km、盛岡市三本柳第5地割百目木地内に所在する。河岸段丘上に立地し、遺跡の範囲は、東西約320m、南北約670mを測る。標高は115m前後で、本遺跡東側を流れる北上川沿いに低くなり、遺跡南東部で最低位を測る。現在では宅地化が急速に進み、畑地が点在しているものの、遺跡の現況は概ね住宅地である。

本遺跡の東側を南北に流れる北上川は、流路転換が顕著で、旧河道が複雑に入り組んでいる。かかる転換に伴い、北上川氾濫原との間に砂礫段丘Ⅲ（低位段丘）が形成されている。本遺跡はこれが段丘上に立地し、旧河道との比高は2m程度である。

調査経過 百目木遺跡は、従前、27次にわたり調査が行われてきた。

昭和53（1978）年、旧都南村教育委員会（平成4年、盛岡市と市村合併）が調査を行い奈良・平安時代の竪穴住居跡を80棟以上確認し、該期の大規模集落跡であることが判明した。以降、住宅建築や下水道管敷設工事を契機に発掘調査を行い、第3・5・8・12・14次調査において奈良・平安時代の竪穴住居跡等の遺構が確認されている。

調査地点 第28次調査は、集合住宅建築に伴う事前調査である。調査地点は、本遺跡中央部からやや北東寄りの位置で、調査対象面積は、約255㎡である。建築申請段階での申請面積は約870㎡であったが、申請区域南東部は掘削を伴わない造成工事により駐車場として整備される計画であった。そのため、事前の試掘調査の際に、当該部分からも遺構が確認されたが、現状保存措置が可能と判断し、当該部分は本調査対象区域から除外した。集合住宅建築部分のみを調査対象とした。



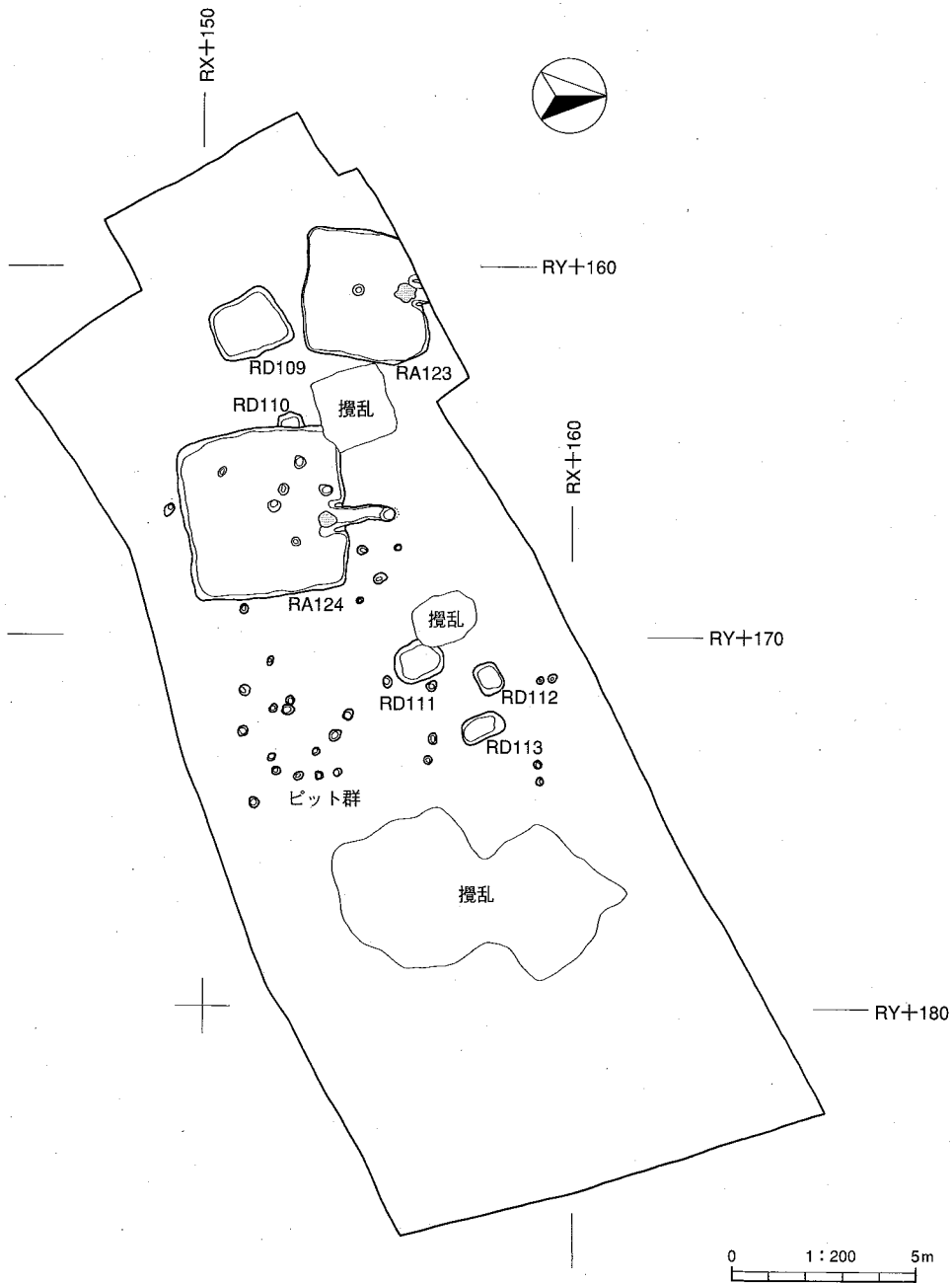
第9図 百目木遺跡 遺跡全体図

□ 調査の概要

検出遺構 本調査の結果、竪穴住居跡 2 棟、土坑 5 基、ピット 29 口が検出された。

竪穴住居跡は、調査区西側部分において 2 棟近接して確認され、調査区中央部から西寄りの部分において土坑及びピットが群在していた。

本調査区域は、集合住宅跡地であるため、区域内の大半が攪乱を受けていた。分けても東半部が顕著で、該地において遺構は確認されていない。元々遺構が分布していなかったのか、攪乱により湮滅したのかは判然としないが、西半部の分布状況及び調査区南隣の駐車場予定地においても遺構が確認されている点などを勘案すれば、後者である可能性を考慮すべきと考えられる。

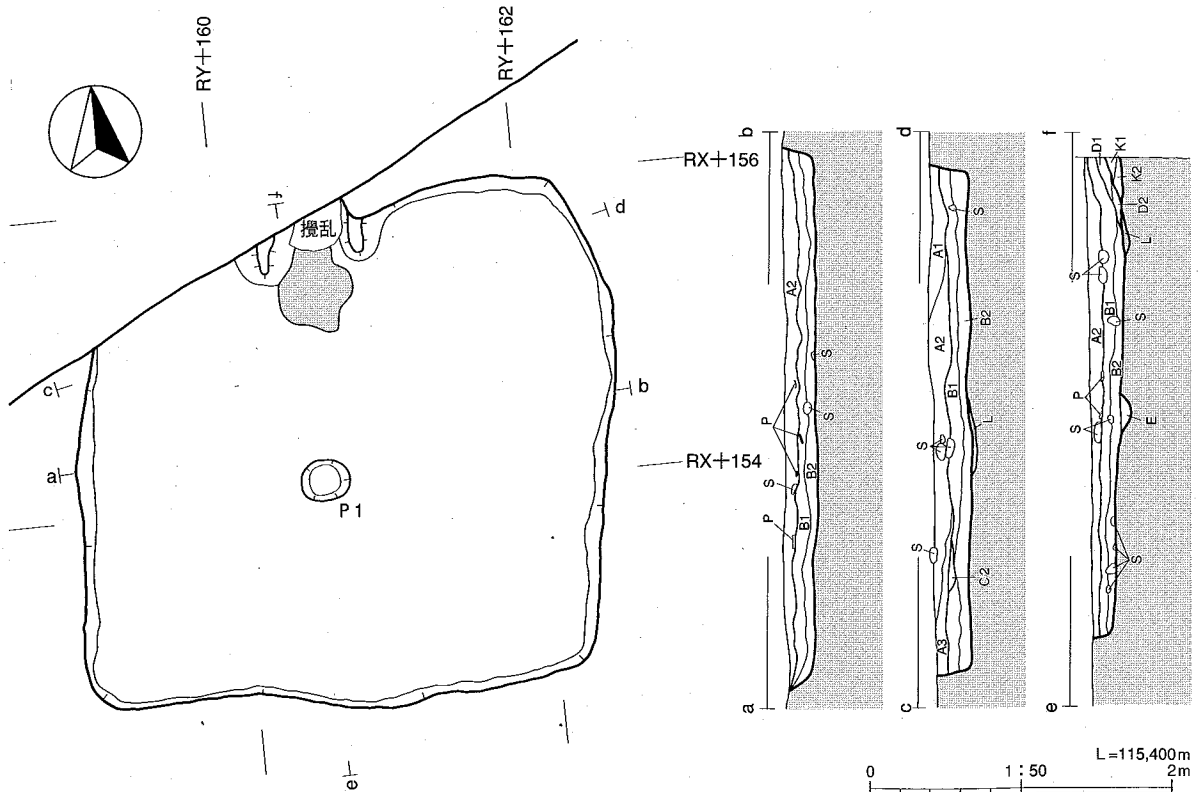


第 10 図 百目木遺跡第 28 次調査 遺跡全体図

RA 123 住居跡 (第10・12 図)

位置	調査区南西部	平面形	隅丸方形	主軸方向	N-3°-E
重複関係	なし	堀込面	削平	検出面	黄褐色シルト層上面
規模	東西約 3.5 m×南北約 3.4 m、深さ約 0.3 m				一部が調査区外に延びる
埋土	A・B層の2層からなる。さらにA層は3層、B層は2層に細別される。両層ともに埋土には礫が混入しており、埋土中位のA層下層からB層上層にかけて顕著に認められた。 A層-黒褐色を主体とする層である。黄褐色シルト粒を含む。 B層-黒褐色を主体とする層である。黄褐色シルト粒を含む。 本層中及び上面から焼土塊及び炭化物が確認された。焼土塊は、現地性の燃焼痕ではなく、被熱面は認められない。				

- 壁の状態** 僅かに外傾して立ち上がる。
- 床の状態** ほぼ水平であるが、若干起伏が認められる。床構築土は認められず、地山層である混土砂礫層を床面としている。床面の中央部からピットが1口検出された。柱痕跡は確認されなかった。
- カマド** 北壁のほぼ中央において検出された。焚口及び袖が確認されたのみで、燃焼部は攪乱により湮滅し、煙道及び煙出穴は調査区外に延びていた。火床面は若干軟質の土質で、被熱浸透層厚も若干薄い。袖は粘土塊で構築されており、芯材は認められなかった。
- 出土遺物** B層を主体に土師器片が数十点出土している。平面的に概括すれば、カマド焚口前から柱穴にかけて密に分布していた。器種別には、坏と甕が大勢を占め、鉢も若干認められた。出土した土器は、いずれも同様の特徴が看取されるもので、帰属時期が大きく異なるものは認められない。
このうち、甕1点と坏2点を図示した。1・2は土師器坏である。ともに底部は丸底で、口縁部と胴部の境に段を有する器形を呈する。内面は黒色処理され、口縁部外面にヨコナデ、胴部外面にヘラケズリ、内面にヘラミガキが施されている。4は土師器甕である。

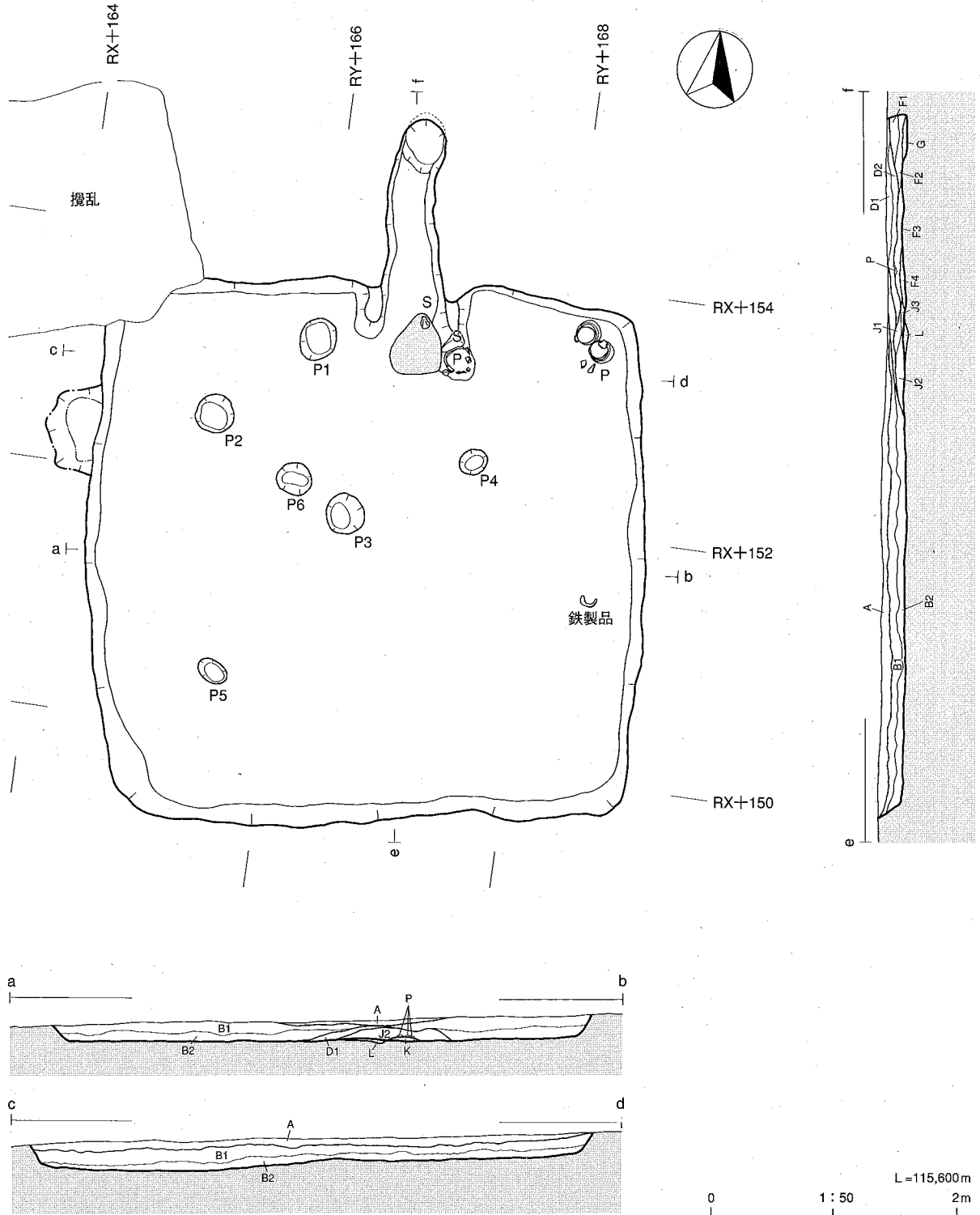


第11 図 百目木遺跡第28次調査 RA123 住居跡

胴部中央からやや上に胴部最大径を有し、口縁部が大きく外反する器形を呈する。口縁部内外面にヨコナデ、胴部内外面にヘラナデが施されている。

RA 124 住居跡 (第 11・12 図)

位置 調査区南西部 平面形 隅丸方形 主軸方向 N-7°-W
 重複関係 RD110と重複 堀込面 削平 検出面 黄褐色シルト層上面



第 12 図 百目木遺跡第 28 次調査 RA124 住居跡

- 規模** 東西約 4.6 m×南北約 4.5 m、深さ約 0.2 m
- 埋土** A・B層の2層からなる。さらにB層は2層に細別される。
 A層－黒褐色土を主体とする層である。黄褐色シルト粒が僅かに含まれていた。
 B層－黒褐色土を主体とする層である。褐色土粒及び黄褐色シルト粒を含む。礫及び小礫が若干混入していた。
- 壁の状態** 僅かに内彎し、外傾して立ち上がる。
- 床の状態** 若干の起伏を有する。床構築土は認められず、地山の砂礫層を床面としている。床面からはピットが6口検出された。
- カマド** 北壁のほぼ中央において検出された。火床面は被熱により硬化しているが、被熱浸透層厚は薄い。カマド袖は粘土塊で構築されている。東袖の裾部からは逆位に倒立した土師器 甕が確認された。狭長な煙道はほぼ平坦で、煙出穴の基底面が一段低くなっている。
- 出土遺物** 住居跡北東隅から土師器 甕2個体が倒立の状態、住居跡中央から北西部にかけて、土師器 坏・甕の破片が散在していた。また、東壁際から鉄製鋤先が1点出土した。
 第12図5・6は、北東隅で検出された甕である。胴部中央部に胴部最大径を有し、口縁部は大きく外反する。胴裾部は大きく窄まり、短く直立して底部に至る器形を呈する。器面調整は、内外面ともに口縁部はヨコナデ、胴部はヘラナデが施されている。3はカマドから出土した土師器 坏。平底気味の丸底で、胴部に段を有する器形を呈する。器内面には黒色処理が施され、調整は、口縁部外面にヨコナデ、胴部にヘラケズリ、内面にヘラミガキが施されている。

土坑・ピット群

- 土坑** 調査区南西部、RA123住居跡南側において1基、調査区ほぼ中央部において3基が近接して検出された。概ね平面は隅丸方形を呈するが、規模は異なる。出土遺物は、RD112土坑埋土上層から土師器 甕片が2点確認される程度で、他からは検出されなかった。
- ピット** 調査区中央部から西側にかけて、29口検出された。いずれも平面は不整円形を呈するが、規模は様々ではない。規則性は認められず、建物を想起させるものは確認されていない。遺物は出土しておらず、時期についても明確とはし得ない。

□ 小 結

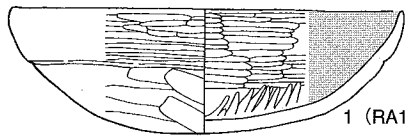
本調査の結果、竪穴住居跡2棟、土坑4基、ピット29口の遺構と、土師器 坏・甕を主体とする土器、鉄製品（鋤先）が確認された。

竪穴住居跡は、2棟共に北壁中央にカマドを有するもので、構造的には同様の様相を呈するが、規模に差異が認められる。出土遺物は、共に土師器 坏及び甕を主体とし、以外の器種が若干含まれている。かかる土器は概ね8世紀前半の範疇で捉えられるもので、該期をもって住居跡の帰属年代が想定されるものである。

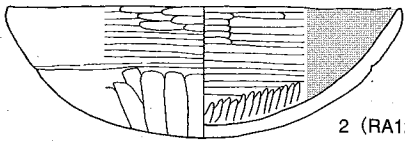
当地域における8世紀代の集落は、大型住居を核とし、中型住居数棟と小型住居数棟が周囲に配置される形態が考察されている。これに鑑みれば、今次調査の結果は、中型住居と小型住居とが配置された区域の一端が顕現したと想定されるものである。

百目木遺跡の調査は、第1次調査を除き、小規模面積を対象としたものが主体となっているため、遺跡の全容を明確にし得る程度に資料は整っていない。今次調査結果は、既知の知見に追従するものであり、大きく異なるものではない。しかし、かかる知見の蓄積と考察が本遺跡解明に繋がるものである。今後の調査の進捗に期待し、後考を期すこととしたい。

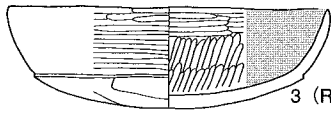
(菊地幸裕)



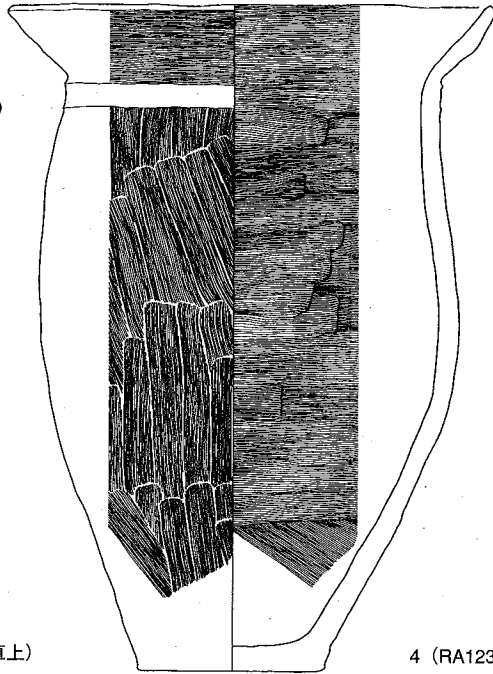
1 (RA123-SW-B層)



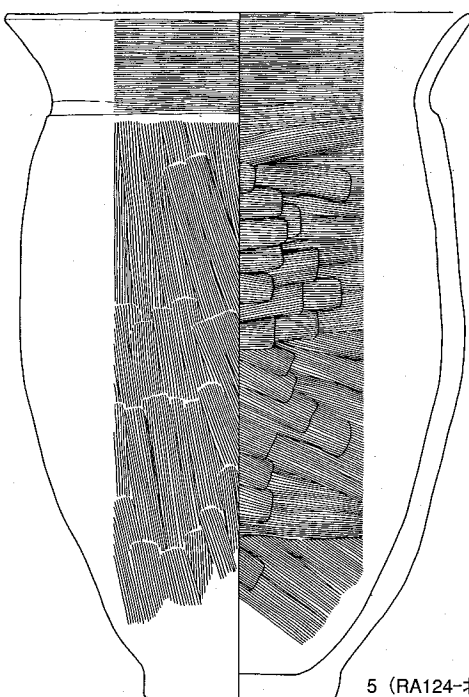
2 (RA123-SW-B層)



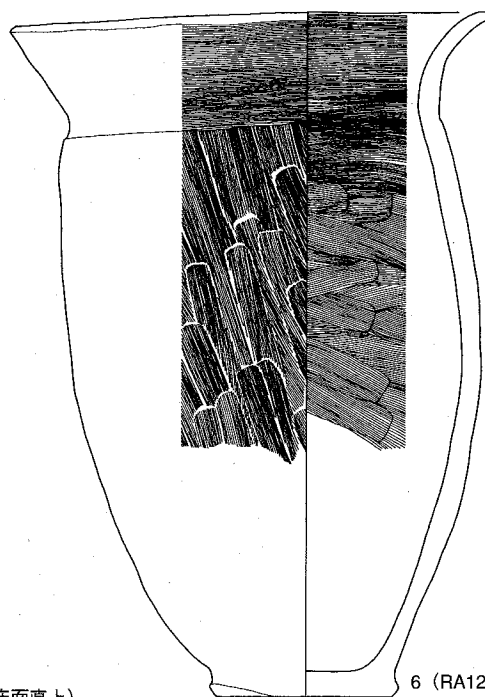
3 (RA124-煙道-底面直上)



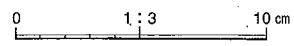
4 (RA123-NW-B層)



5 (RA124-北東壁際-床面直上)



6 (RA124-北東壁際-床面直上)



第 13 図 百目木遺跡第 28 次調査 住居跡出土遺物



大館町遺跡第 78 次調査風景



大館町遺跡第 78 次調査 全景



飯岡才川遺跡第 14 次調査 南側全景



飯岡才川遺跡第 14 次調査 北側全景



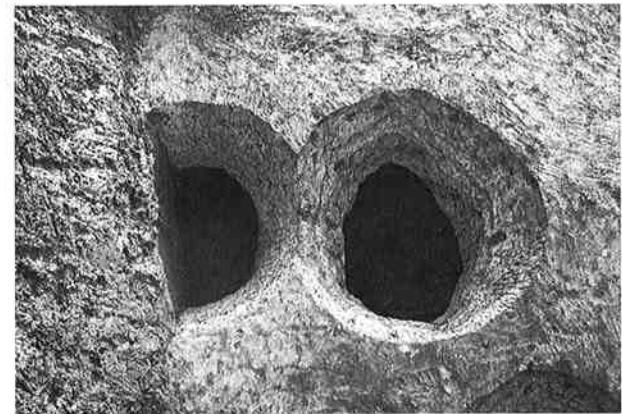
台太郎遺跡第 59 次調査 全景



台太郎遺跡第 61 次調査 全景



矢盛遺跡第 15 次調査 全景



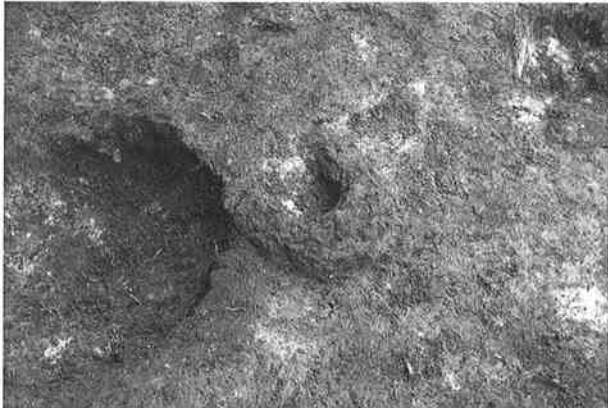
矢盛遺跡第 15 次調査 井戸跡



大宮北遺跡第 11 次調査 溝跡



一本松遺跡第 8 次調査 全景



一本松遺跡第 8 次調査 鉄製鋤先出土状況



繫V遺跡第 34 次調査 全景



繫V遺跡第 34 次調査 ひすい製大珠出土状況



繫V遺跡第 34 次調査出土 ひすい・蛇紋岩製大珠



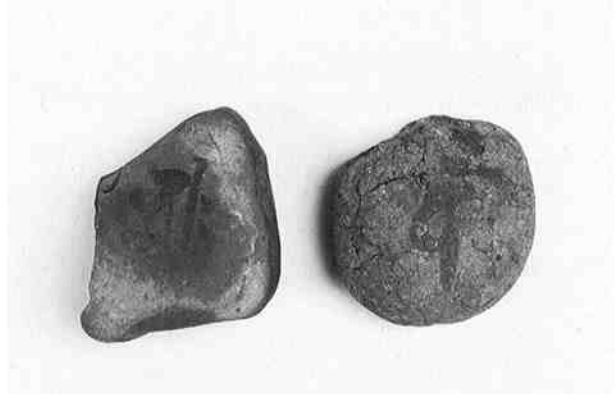
宿田南遺跡第 9 次調査 経塚



宿田南遺跡第 9 次調査 経塚全景



宿田南遺跡第9次調査出土 多字一石経



宿田南遺跡第9次調査出土 一字一石経（梵字）



西鹿渡遺跡第21次調査 竪穴住居跡



宿田遺跡第11次調査 全景



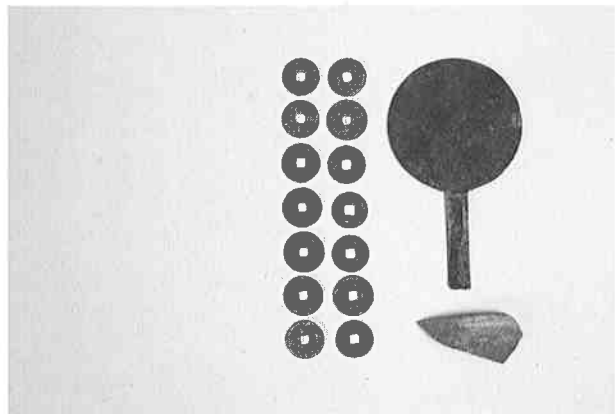
宿田遺跡第11次調査



館遺跡第20次調査 堀跡



館遺跡第20次調査風景

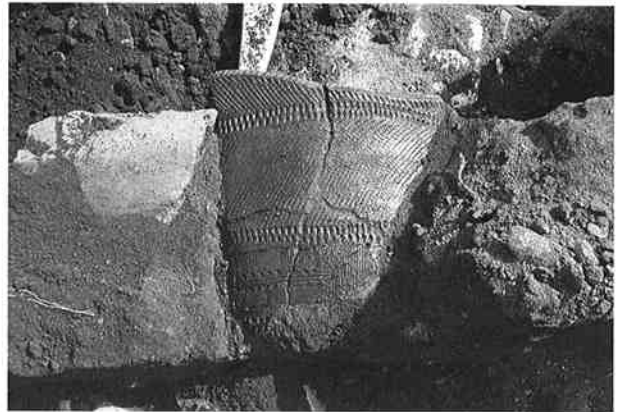


館遺跡第20次調査出土 古銭・銅製手鏡・瀬戸灰釉平碗

写真図版 4



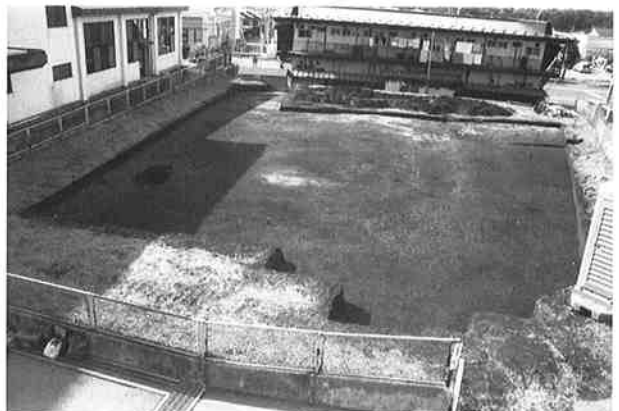
薬師社脇遺跡第6次調査 竪穴住居跡全景



薬師社脇遺跡第6次調査土器出土状況



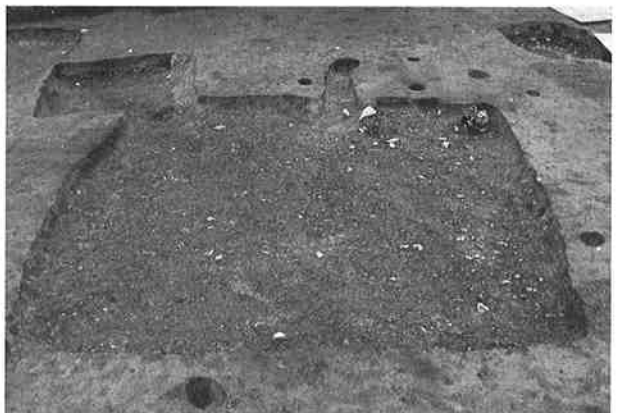
黒石野平遺跡第8次調査 陥し穴状土坑



黒石野平遺跡第8次調査 全景



百目木遺跡第28次調査 全景



百目木遺跡第28次調査 竪穴住居跡全景



百目木遺跡第28次調査 出土遺物 (土器)



百目木遺跡第28次調査 出土遺物 (鉄製品)

報告書抄録

ふりがな		もりおかしいせきのまなびかん へいせい19ねんど かんぼう						
書名		盛岡市遺跡の学び館 平成19年度 館報						
編著者名		佐藤和男 室野秀文 菊地幸裕 神原雄一郎 今野公顕 佐々木亮二 鈴木賢治 浅沼のぞみ						
編集機関		盛岡市遺跡の学び館						
所在地		〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋13番地1 Tel. 019-635-6600						
発行年月日		2009年3月27日						
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
		市町村	遺跡番号	(世界測地系)				
おおだてちょう 大館町遺跡(78次)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 だいにしんちようちない 大新町地内	03201		39° 42' 48	141° 07' 03	2007.12.3 ~2007.12.14	225	史跡内容確認
せいなんちういせきぐん 盛南地区遺跡群	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 むかいなかのあざむかいなかの 向中野字向中野9 ほか			39° 40' 53	141° 08' 18	2007.4.24 ~2007.12.14	14,660	土地区画整理
おおみやきた 大宮北遺跡(11・13次)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 もとみやあざおおみや 本宮字大宮98-4地先ほか			39° 41' 09	141° 07' 02	(11次)2007.4.11 ~2007.4.24 (13次)2007.5.28	(11次)16 (13次)288	(11次)個人住宅 建築(13次)公共 下水管敷設工事
いっぼんまつ 一本松遺跡(8次)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 おおあざあかばやし 大字赤林2-208-3ほか			39° 38' 57	141° 07' 37	2007.8.3 ~2007.9.14	395	市道建設
つなぎご 繫V遺跡(34次)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 つなぎあざたていち 繫字館市114-1ほか			39° 40' 26	141° 01' 08	2007.9.18 ~2007.11.30	288	学校建築
くろいしのだいら 黒石野平遺跡(8・9次)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 みどりがおか3ちようめ 緑ヶ丘二丁2-31・55			39° 44' 20	141° 08' 46	(8次)2007.10.1 ~2007.10.5 (9次)2007.10.4 ~2007.10.5	(8次)380 (9次)10	(8次)宅地開発 (9次)駐車場増設
しゆくだみなみ 宿田南遺跡(9次)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 きたゆうがおせまち 北夕顔瀬町38			39° 42' 38	141° 07' 02	2007.4.16 ~2007.8.2	126	車庫建築
にしかど 西鹿渡遺跡(21次)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 さんぼんやなぎ 三本柳2-39-65			39° 39' 52	141° 09' 49	2007.4.16 ~2007.4.27	62	個人住宅建築
しゆくだ 宿田遺跡(11次)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 ぜんくねん 前九年2-104-53ほか			39° 42' 39	141° 07' 02	2007.4.27 ~2007.5.16	56	個人住宅新築
たて 館遺跡(20次)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 かみおたて 上太田館58			39° 41' 32	141° 05' 47	2007.6.14 ~2007.7.24	107	個人住宅建築
まちだ 町田遺跡(15次)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 おとべ 乙部30-39			39° 36' 52	141° 11' 59	2007.9.27 ~2007.10.3	67	個人住宅増築
おとべほうはちちよう 乙部方八丁遺跡(11次)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 おとべ 乙部32-7-6.9			39° 36' 12	141° 11' 55	2007.12.6	46	個人住宅新築
やくししゃわき 薬師社脇遺跡(6次)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 あさきしあざふたつもちない 浅岸字二ツ森地内		39° 42' 46	141° 11' 12	2007.4.9 ~2007.8.31	2,756	宅地造成	
どめき 百目木遺跡(28次)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 さんぼんやなぎ 三本柳5-16-1ほか		39° 39' 37	141° 09' 46	2007.11.19 ~2007.12.18	255	共同住宅建築	
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
大館町遺跡(78次)	集落	縄文時代中期	竪穴住居跡 溝跡(平安期)		縄文土器 石器		検出のみ	
盛南地区遺跡群	集落	古代 近世	陥し穴状土坑 竪穴住居跡 溝跡 ピット 土坑 掘立柱建物跡		土師器 須恵器 あかやき土器 陶磁器			
大宮北遺跡(13次)	集落	平安時代	溝跡		あかやき土器			
一本松遺跡(8次)	集落	平安時代 近世	竪穴住居跡 土坑 溝跡 竪穴状遺構		あかやき土器 須恵器 鉄製鋤先			
繫V遺跡(32次)	集落	縄文時代中期	竪穴状遺構 土坑 柱穴		縄文土器 石器 大珠(ヒスイ製・蛇紋岩製)			
黒石野平遺跡(9次)	集落 狩猟場	縄文時代早期	なし		なし			
大宮北遺跡(11次)	集落	平安時代	溝跡		あかやき土器 土師器			
宿田南遺跡(9次)	経塚	中世・近世	中世経塚 近世土坑墓		経石(一字・多字) 人骨(近世)			
西鹿渡遺跡(21次)	集落	奈良時代	竪穴住居跡 柱穴		土師器			
宿田遺跡(11次)	集落 狩猟場	縄文時代早期	陥し穴状土坑 遺物包含層		縄文土器 石器			
館遺跡(20次)	集落 館跡	中世 近世	堀 溝跡 土坑墓(近世)		土師器 須恵器 瀬戸灰 釉平椀 寛永通寶 銅製 手鏡 人骨 馬骨			
町田遺跡(15次)	集落	平安時代	竪穴住居跡		土師器 須恵器			
乙部方八丁遺跡(11次)	集落	縄文時代 平安時代	土坑 竪穴住居跡 溝 溝状土坑		なし		遺構保護措置	
薬師社脇遺跡(6次)	集落	縄文時代早期 平安時代中世	竪穴住居跡 土坑 遺物包 含層 配石遺構 溝跡 掘立柱建物跡 竪穴建物跡		縄文土器・石器 平安時代土器 古銭			
黒石野平遺跡(8次)	集落 狩猟場	縄文時代	陥し穴状土坑		縄文土器			
百目木遺跡(28次)	集落	奈良時代	竪穴住居跡 土坑 ピット		土師器 鉄製鋤先			

盛岡市遺跡の学び館 平成19年度 館報

2009年3月27日 発行

発行 盛岡市遺跡の学び館

〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋13番1号

電話 019-635-6600 FAX 019-635-6605

E-mail iseki@city.morioka.iwate.jp

U R L <http://www.city.morioka.iwate.jp/14kyoiku/iseki/manabikan/index.html>

印刷 第一印刷有限公司

〒020-0122 盛岡市みたけ四丁目6番40号

電話 019-646-6001